

令和8年度 事業計画

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

令和 8 年 度 事 業 計 画

第 1	公益目的事業	3 ページ
第 2	法人会計	86 ページ
参考資料	各施設の年度別患者見込数一覧	87 ページ

令和8年度事業計画

第1 公益目的事業

- 1 医学生及び卒業生のへき地医療研修活動の指導（公1-1）
 - (1) 自治医科大学在学学生との連携
 - ア 卒後ガイダンスへの参加
 - イ 学園祭への協賛
 - ウ 学生相談会の開催
 - エ 卒業生と学生の交流の推進
 - (2) 各医科大学との連携事業
 - ア 医学生の地域医療実習支援
 - イ 医学生等に対する研修会の開催
 - ウ 地域医療ネットワークの構築
 - (3) 自治医科大学卒業生との連携
 - ア へき地医療功労者の表彰
 - イ 高久賞の授与

- 2 へき地診療活動基準の研究及び確立（公1-2）
 - (1) 地域医療セミナーの開催
 - (2) へき地診療所等の調査事業（へき地医療研究センター）
 - ア プライマリケア臨床研究ネットワーク
 - イ 郵便局を活用したオンライン診療ネットワーク

- 3 総合医の確立についての研究と研修会の開催及び総合医の養成（公1-3）
 - (1) 本部事業
 - ア へき地・地域医療学会の開催
令和8年6月27日（土）及び28日（日）開催予定
 - イ へき地医療に関する研究への助成
 - （ア）研究助成賞及び研究奨励賞の授与
 - （イ）国等の研究助成事業を活用した研究の促進

- ウ 海外とのへき地医療、地域医療に関する研究と交流
 - (ア) 教員・指導医の国際交流
 - (イ) 海外講師招聘・講演会の開催
 - (ウ) 米国医科大学等への研修支援
 - (エ) 医学生海外研修の支援
 - オレゴン健康科学大学
- エ 関係団体との交流
 - 日本地域医療学会等との交流
- オ 医学生に対する奨学金貸与事業
- (2) JADECOM アカデミーセンター
 - ア 臨床研修センター
 - (ア) 研修医及び指導医の確保・教育
 - (イ) 研修計画の立案、研修カリキュラム作成、教材開発
 - (ウ) 医学教育にかかわる研究
 - (エ) 再研修希望医師へのプログラム提供
 - (オ) 地域医療研修センターの運営
 - (カ) JADECOM 専攻医確保育成
 - イ NP・NDC研修センター
 - (ア) NDC 研修事業
 - (a) 特定行為に係る看護師を育成
 - (b) 医師が作成する一定の手順書を元に診療の補助行為、21区分38行為の研修を履修する
 - (c) 定員数 15名
 - (d) 研修修了者に対する活動支援
 - (イ) NP研修事業
 - (a) 総合内科・総合診療科 (General Internal Medicine) に特化した診療看護師 (NP) を育成
 - (b) 各診療科を3か月ごとにローテーションして実習 (2年目は地域研修を実施)
 - (c) 研修者数 (2年制) 1年目3名、2年目5名
 - (d) 研修修了者に対する活動支援
 - (e) NP養成課程 (大学院) 就学者に対する奨学金貸与
- ウ 薬剤師レジデントプログラム
 - (ア) 継続的な薬剤師確保と病院薬剤師の質の向上を図るための卒後1～3年の薬剤師を対象とする2年間の臨床研修
 - (イ) 定員数 10名 (東京ベイプログラム5名、奈良プログラム3名、東京北プログラム2名)

エ シミュレーションセンター

(ア) 教育研修事業の実施

- (a) P T L S 講習会
- (b) I C L S / B L S / I C L S 指導者養成WS / J M E C C 講習会
- (c) A T O M 講習会
- (d) A L S O / B L S O 講習会
- (e) P A L S / P E A R S 講習会
- (f) セデーションコース
- (g) その他講習会

(イ) 地域の医療従事者や住民への医療教育提供

(ウ) 指導者の育成

(エ) 地域の医療安全推進のための研修や原因分析

(オ) 医療職の入職時研修、復職時研修、ステップアップ研修

(カ) 新たな医療技術やシステムの導入時検証

(キ) 教材の作成及び発信

オ 総合診療産婦人科養成センター

カ 地域医療支援センター

(ア) へき地への医師等派遣事業

へき地・離島等への代診・診療支援

(イ) 離島支援事業

神津島等の島嶼支援 専門医の巡回診療、コメディカルの派遣等

(ウ) 医師確保・支援事業

0 医師確保困難施設への医師派遣の促進・調整

4 医療情報の提供（公1-4）

(1) 自治医科大学卒業生に対する図書館文献複写サービスの実施

(2) 地域医療振興協会ホームページの管理運営

(3) 医療情報文献サービスの提供

(4) 生涯教育センター

ア 医師等の生涯教育に資する情報提供の実施

イ 診療、進路、研究等に関する医師等からの各種相談窓口の開設

5 地域保健医療に関する研究会及び講習会の開催（公1-5）

(1) 教育研修事業の実施

(2) 沖縄心肺蘇生講習会

6 へき地に勤務する医師等の職業紹介及び派遣（公1-6）

- (1) 無料職業紹介所の運営
- (2) へき地医療研究センター
 - ア へき地医療情報ネットワークの運営
 - イ へき地診療所総覧の発行
- (3) 北海道へき地医療支援センター
北海道地域における医師確保の支援等
- (4) 岐阜へき地医療支援センター
岐阜県等のへき地等への診療支援及び医学生等の研修事業の実施
- (5) 奈良へき地医療支援センター
総合医を目指す若手医師の現地研修、奈良地域における医師確保支援等
- (6) 沖縄地域医療支援センター（ゆいまーるプロジェクト）
 - ア 沖縄県へき地医療支援機構運営事業受託
医師確保支援、ドクターバンク、代診支援、離島・へき地医療情報提供等
 - イ 沖縄県専門医巡回診療支援事業受託、離島巡回診療ヘリ等運営事業受託
 - ウ 竹富町立黒島診療所及び竹富町立竹富診療所の事務支援、並びに公立久米島病院との連携
- (7) へき地への医師等派遣事業（再掲）
へき地・離島等への代診・診療支援（再掲）
- (8) 離島支援事業（再掲）
神津島等の島嶼支援 専門医の巡回診療、コメディカルの派遣等（再掲）
- (9) 医師確保・支援事業（再掲）
医師確保困難施設への医師派遣の促進・調整（再掲）

7 会報・会誌の発行（公1-7）

- (1) 月刊地域医学の編集・発行
- (2) 地域医療関連書籍の出版

8 へき地等に勤務する医師の確保等へき地等の医療を支援する病院等の開設及び運営管理の受託（公1-8）

- (1) JADECOM 学術大会の開催
- (2) 地域看護研究センター
 - ア 地域看護に関する研究
 - (ア) 研修会の開催
 - (イ) 看護介護研究の推進
 - (ウ) 看護・介護職員の他施設との交流体験学習

- イ 専門・認定看護師等育成の支援
- ウ 看護師等の確保と派遣
- (3) 地域医療調査研究事業
 - 地方自治体の地域医療政策立案に関する調査研究
- (4) 地域医療安全推進センター
 - ア 医療安全管理体制構築・組織づくりに対する支援、及び情報収集・提供事業
 - イ 医療安全教育・人材育成事業
 - 研修・講演
 - ウ 研究開発事業
 - 医療安全管理・医療安全教育に関する調査・研究事業、医療安全教育方法等の開発
 - エ 地域連携による医療安全ネットワークシステム構築事業
 - 医療安全管理者パートナーシップ支援事業、連携施設間の相互評価支援
- (5) 施設の運営の質の確保及び運営の効率を図る事業
 - ア 拠点病院等の開設準備及び調整
 - イ 経営改善の実施
 - ウ 職員研修の実施
 - エ 広報活動の実施
 - オ 人事システムの運用
 - カ 給与システムの運用
 - キ 会計システムの運用
 - ク 情報システムの運用
 - (ア) 協会全体の情報システムの基盤強化と利用促進
 - (イ) 各種業務システムの構築と支援
 - (ウ) 電子カルテシステムの標準化
 - (エ) 情報共有基盤（MS 3 6 5・MOSS等）の構築
 - (オ) 情報のセキュリティ対策
 - (カ) ホームページ構築の技術支援
 - (キ) 情報システム研修会の実施
- (6) 西日本事務局
 - 施設の経営改善、職員研修、人材確保等について分担する。

9 病院等運営事業（公1-8）

1 石岡第一病院（平成4年7月1日開設、直営）

（1）診療業務

ア 入院	病床数	126床	
	年間患者数	35,770人	（一日平均 98.0人）
	病床稼働率	77.7%	
イ 外来	年間患者数	120,130人	（一日平均 410人）
ウ 介護保険			
(ア) 訪問看護	年間利用者数	2,040人	（一日平均 6.9人）
(イ) 居宅療養管理指導	年間利用者数	60人	（一日平均 5.0人）

（2）口腔外科業務

ア 入院	年間患者数	438人	（一日平均 1.2人）
イ 外来	年間患者数	8,790人	（一日平均 30人）

（3）保険予防業務

ア 健診（一般、企業検診）	年間利用者数	1,180人
イ 人間ドック	年間利用者数	369人
ウ 予防接種	年間利用者数	7,770人
エ 乳児健診	年間利用者数	249人

（4）在宅介護支援センター

ア 訪問看護	年間相談件数	2,160件	（月平均180件）
イ ケアプラン	年間作成件数	2,040件	（月平均170件）
ウ 訪問リハビリ	年間調査件数	2,420件	（月平均201件）

（5）施設機器設備整備

ア 医療機器	一般撮影装置	（リース）
	自動精算機	（リース）
	温冷配膳車	（購入）
イ 事務機器	印刷機	（購入）
ウ 施設設備	エコ給湯	（購入）
	給排水設備	（購入）

（6）へき地医療の支援に関すること

へき地拠点病院運営等

ア へき地診療所等との連携・支援

イ 医師の派遣及び医療技術員の支援

- (7) 研修に関すること
 - ア 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医を受入。
 - イ 新専門医制度における連携施設、内科・総合診療の受入。
 - ウ 医師・医学生等に地域における研修の場を提供。
 - エ 看護学生の実習受入。
 - オ 医療職（リハビリ、栄養士、臨床検査技師、歯科衛生士等）及び医療事務の実習受入。
- (8) 奨学金の貸与

看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。
- (9) その他特記事項
 - ア 栄養指導・服薬指導の充実を図る。
 - イ 在宅医療の充実を図る。
 - ウ 外国人介護士の受入。
 - エ 経費削減に努める。
 - オ 病院群輪番制の当番日に救急担当医を配置し、救急患者の受入体制を強化。

2 六合医療センター（六合診療所）（平成5年9月1日開設、中之条町から指定管理、令和5年9月1日移転開院）

- (1) 診療業務
 - ア 外来 年間患者数 年間患者数 1,856人（一日平均 10.2人）
 - イ 介護保険
 - (ア) 訪問看護 年間利用者数 91人（一日平均 0.5人）
 - (イ) 居宅療養管理指導 年間利用者数 36人（一日平均 0.2人）
 - ウ 内視鏡研修 毎月第一火曜日 午前鈴木医師西吾妻福祉病院にて研修（午前休診）
- (2) 歯科診療業務
 - 外来 年間患者数 4,767人（一日平均 21.0人）
- (3) 施設機器設備整備
 - ア 医療機器 ベッドサイドモニタ（行政対応）
 - イ 事務機器 ノートパソコン 2台（購入）
- (4) 研修に係ること

医学生、看護学生等にへき地における医療研修の場の提供に努める。

(5) その他特記事項

- ア 在宅医療（訪問診療、訪問看護等）への取り組みに努める。
- イ 町と診療所運営について連携を図る。
- ウ 町保健事業（予防接種等）・学校医等への協力を図る。
- エ 地区内私立学校への学校医派遣。
- オ 月1～2回ミニデイを開催し地域住民との交流を図る。

3 西伊豆町安良里診療所（平成6年1月5日直営で開設、平成27年3月1日西伊豆町から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 外来 年間患者数 20,449人（一日平均 84.5人）
- イ 介護保険
 - (ア) 居宅療養管理指導 年間利用者数 290人（一日平均 1.2人）

(2) へき地医療の支援に関する事

神津島への耳鼻咽喉科外来の診療応援（年1回）

(3) 奨学金の貸与

看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。

(4) その他特記事項

- ア 在宅医療の充実
- イ 安良里在住の方に診療所への送迎バスを用意。
他地域の歩行困難の方、独居老人の方の送迎。

4 揖斐郡北西部地域医療センター（平成10年4月1日開設、揖斐川町から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 外来 年間外来患者数 5,392人（一日平均 22.1人）
- イ 介護保険
 - (ア) 訪問看護 年間利用者数 342人（一日平均 1.4人）
 - (イ) 訪問リハビリ 年間利用者数 488人（一日平均 2.0人）
 - (ウ) 居宅療養管理指導 年間利用者数 683人（一日平均 2.8人）

(2) 介護老人保健施設業務（短期入所含む）

- ア 入所 定員 59人
年間入所者数 20,258人（一日平均 55.5人）
ベッド利用率 94%

イ 通所リハビリ 定員30人

年間入所者数 4,758人 (一日平均 19.5人)

稼働率 65%

(3) 居宅介護支援業務

ケアプラン年間作成件数 832件 (月平均69.3件) 予防含む

(4) 訪問介護業務

年間利用者数 1,415件 (一日平均 5.8人)

(5) へき地医療の支援に関すること

ア 揖斐郡の北西部4地域における保健・福祉・医療施設との連携・支援及び周辺地域の代診の要望に対応する。

イ 町と連携し、揖斐川町における保健・福祉・医療施策等の支援・調整を行う。

ウ 町と山間部診療所のオンライン診療、移動診療車の導入を推進している。

移動診療車については、久瀬の日坂、小津地区にて開始する。

(6) 研修に関すること

ア 臨床研修協力施設

臨床研修協力施設として研修医を受け入れる。

イ 研修生受け入れ

医師、医学生、理学療法士(学生)、看護師、介護士等に、地域における研修の場を提供。

(7) 奨学金の貸与

看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対する入学後奨学金貸与。

(8) その他特記事項等

ア 機能強化在宅支援診療所として、24時間体制にて診療を行う。

イ 訪問診療・在宅医療・ターミナルケア等の充実を図る。

ウ 在宅支援をより一層強化し、多職種連携を図り、在宅復帰に向けて取り組む。

エ 引き続き近隣協会施設であるいびがわ診療所、春日診療所、谷汲中央診療所と連携を図り効率的な地域医療に邁進するため、更なる訪問診療拡大に向けて対応中、また令和11年度に移転予定の老健山びこの郷について揖斐川町と協議中である。

オ 多職種学生及び現職者対象に、多職種連携研修会(IPE研修会)を定期的を実施し、町内公民館で住民との交流会を行う。

カ 地元学生に対しての職場体験、久瀬地区の祭りへの共同参加、町内各地区集会での講話等地域貢献に寄与している。

5 東通村保健福祉センター（平成11年2月1日開設、東通村から指定管理）

(1) 地域包括支援センター

ケアプラン 年間作成件数 720件（一月平均 60件）
（内、総合事業プラン30件）

(2) 居宅介護支援業務

ケアプラン 年間作成件数 1,860件（一月平均 155件）
（内、予防プラン5件、総合事業プラン3件）

(3) 通所介護業務

通所介護 年間利用者数 7,440人（一日平均 24.0人）
予防・総合事業 年間利用者数 1,085人（一日平均 3.5人）
営業日数 310日

(4) 健康増進施設（温泉）年間利用者数 42,000人（一日平均 140人） （うち有料入浴者45人）

営業日数 300日

(5) 研修に関すること

- ア 研修医・研修生受け入れ
- イ 医師・学生等に、地域における研修の場を提供する

(6) その他特記事項

ヘルスプロモーションカーを活用した包括ケアの実践

(7) 健康増進事業

ピラティス・百歳体操を村民向けに地域集会所等にて行っている。

(8) 地域交流

ひとみの里リレーマラソンを開催し、職員と地域住民の健康増進と交流を図っている。

6 白糠診療所（平成11年2月1日開設、一部事務組合下北医療センターから指定管理）

(1) 診療業務

外 来 年間患者数 376人（一日平均 8人）

(2) 東通村保健福祉センター、老健のはなしょうぶ及び東通村診療所との連携

- ア 職員（看護師等）相互派遣
- イ 保健・医療・福祉施策の連携

(3) 研修医・研修生受け入れ

医師、医学生等に、地域における研修の場を提供する

7 西伊豆町田子診療所（平成11年5月17日直営で開設、平成27年3月1日西伊豆町から指定管理）

(1) 診療業務

ア 外 来	年間患者数	11,528人	(一日平均 44.0人)
	訪問診療	年間患者数	528人 (一日平均 2.0人)
イ 介護保険	居宅療養管理指導	年間利用者数	273人 (一日平均 1.0人)
	訪問リハビリ	年間利用件数	390人

(2) その他特記事項等

- ア 在宅医療・ターミナルケアの充実を図る。
- イ 健康・体操教室の充実を図る。
- ウ 地域ケアマネージャー等との連携を図る。
- エ 患者送迎サービスの充実を図る。
- オ 西伊豆町との指定管理期間を更新済（令和7年4月～）

8 公立丹南病院（平成12年2月1日開設、公立丹南病院組合から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入 院	病床数	179床
	年間患者数	39,420人 (一日平均 108.0人)
	病床稼働率	60.3%
イ 外 来	年間患者数	136,760人 (一日平均 516.1人)
		(人工透析、健康診断、予防接種、検診等を含む。)
ウ 人間ドック	年間利用者数	4,630人 (一日平均 19.3人)
エ 特定健診	特定健診	640人 (一日平均 2.7人)
	動機付指導	34件
	積極的指導	16件

(2) 通所リハビリテーションセンター

定員	45人
年間利用者数	9,408人 (一日平均 32.0人)
稼働率	71.1%

(3) 訪問リハビリテーションセンター（令和6年度事業開始）

年間利用者数	292人 (一日平均 1.0人)
--------	------------------

(4) 訪問看護ステーション

年間利用者数	4,708人 (一日平均 16.1人)
--------	---------------------

- (5) 居宅介護支援事業所
 ア ケアプラン 年間作成件数 1, 416件 (一月平均 118.0件)
 イ 認定調査 年間作成件数 72件 (一月平均 6.0件)
- (6) へき地医療拠点病院
 福井県内のへき地診療所等への診療支援業務
- (7) 臨床研修指定病院等研修関係
 ア 協会施設における協力型臨床研修病院
 (横須賀総合、伊東、東京北、奈良、県立志摩、東京ベイ)
 イ 福井大学医学部附属病院、福井赤十字病院(内科)における協力型臨床研修病院
 ウ 医学生、各医療系学生に地域における研修の場を提供
- (8) 奨学金の貸与
 看護師、助産師並びに薬剤師確保のために奨学金の貸与を行う。
- (9) 施設等整備
 4K内視鏡手術装置、透析用水生成装置 (病院組合取得予定分)
 シリンジポンプ、輸液ポンプ ほか (当院取得予定分)

9 日光市民病院 (平成12年4月1日開設、直営)

(1) 診療業務

ア 入院	一般病床	
	病床数	53床
	年間患者数	14,965人 (一日平均 41.0人)
	病床稼働率	77.4%
	療養病床	
	病床数	43床
	年間患者数	12,775人 (一日平均 35.0人)
	病床稼働率	81.4%
	感染症病床	
	病床数	4床
	合計	100床
	年間患者数	27,740人 (一日平均 76.0人)
		病床稼働率 76.0%
イ 外来	年間患者数	32,120人 (一日平均 110.0人)
ウ 介護保険	訪問リハビリ	

- (2) へき地医療の支援に関すること
 - へき地拠点病院運営等
 - ア 巡回診療の実施（奥日光湯元地区及び滝が原地区）
 - イ 奥日光診療所、小来川診療所との連携・支援
 - ウ 奥日光診療所、小来川診療所への医師の派遣及び看護師、事務員の支援
 - エ 栗山村診療所、湯西川診療所への医師派遣
- (3) 施設機器設備整備
 - ボイラー、空調機更新
- (4) 研修に関すること
 - ア 研修医・研修生受け入れ
 - イ 医師・医学生、看護学生等に、地域における研修の場を提供する。
- (5) 奨学金の貸与
 - 看護師、薬剤師、介護福祉士確保のため、看護学校等入学希望者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。
- (6) 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）
 - 協会施設（東京北、東京ベイ、伊東、うわまち、奈良、大村、練馬光が丘）、及び自治医科大学附属病院における協力型臨床研修病院
- (7) 強化項目
 - 医師確保対策（内科）、看護師・介護福祉士確保
- (8) その他特記事項
 - 健康診断・人間ドック（国保人間ドック・脳ドック）の患者増を図る。

10 磐梯町保健医療福祉センター（平成12年4月1日開設、磐梯町から指定管理）

- (1) 診療所業務（外来稼働日数268日）
 - ア 入院

病床数	19床
年間患者数	5,840人（一日平均 16.0人）
病床稼働率	84.2%
 - イ 外来

年間患者数	15.0人（一日平均 56.0人）
-------	-------------------
 - ウ 往診

年間件数	36件（一月平均 3.0件）
------	----------------
 - エ 訪問診療

年間件数	180件（一月平均 15.0件）
------	------------------
 - オ 人間ドック

年間利用者数（一泊）	3人
（日帰り）	15人
 - カ 施設検診

年間利用者数	400人
--------	------

- キ 介護保険
- (ア) 訪問看護 年間件数 144件 (一月平均 12.0件)
- (イ) 訪問リハビリ 年間件数 213件 (一月平均 17.8件)
- (2) 歯科業務 (稼働日数268日)
- 外 来 年間患者数 3,990人 (一日平均 15.0人)
- (3) 地域包括支援センター・介護予防支援業務
(稼働日数292日)
- ア 各種相談 年間相談件数 720件 (一月平均 60.0件)
- イ 介護予防ケアプラン 年間作成件数 600件 (一月平均 50.0件)
- (4) 居宅介護支援業務 (介護予防を含む) (稼働日数292日)
- ア ケアプラン 年間作成件数 780件 (一月平均 65.0件)
(うち介護予防分 60件)
- イ 認定調査 年間調査件数 24件 (一月平均 2.0件)
- (5) 各種介護業務
- 通所介護 (定員30人) (稼働日数 308日) 稼働率 73.3%
年間利用者数 6,754人 (一日平均22.0人)
- (6) 老人保健施設業務
- 定員 100人 (短期入所を含む) (稼働日数 365日)
- ア 入所 年間入所者数 32,120人 (一日平均 88.0人)
- イ 短期 年間入所者数 2,550人 (一日平均 7.0人)
ベッド利用率 95.0% (一般入所・短期入所合算)
- ウ 通所リハビリテーション (定員20人・介護予防を含む) 稼働率 80.0%
(稼働日数 257日)
年間利用者数 4,080人 (一日平均 16.0人)
- エ 認定調査 年間調査件数 なし
- オ 意見書作成 年間作成件数 50件
- (7) 施設機器設備整備
- ア 歯科診療用チェア 2台 (行政対応)
- イ エレベーター入替 4基 (老健2基、医療センター2基)
- (8) 研修に関すること
- ア 臨床研修協力施設として研修医の受け入れ (ジュニア及びシニアレジデントの育成)
- イ 医学生、看護学生、医療技術職学生等の研修及び実習の受け入れ

(9) 診療支援に関すること

- ア 県立知的障害者（児）更生施設の内科診療に係る医師の定期派遣
- イ 特別養護老人ホームの嘱託医受託による医師の定期派遣
- ウ 近隣企業の産業医及び従業員の健康診断受入

(10) その他特記事項等

- ア 在宅医療に関する地域住民への啓蒙と体制の充実化を図る
- イ 地域との連携活動の推進による住民福祉の向上を図る
- ウ 各種サービス（医療・介護）の現状や住民のニーズを常に把握し、それに伴った規模の再考、人員配置の適正化と効率的な配置を常時検討し、状況に応じて事業転換や統廃合も検討・実施する
- エ 組織体制の強化、それに見合った役職者の獲得及び育成を推進する
- オ 計画的な人材確保（現職者の年齢等考慮し、後進へのスムーズな移行）

1.1 東通村診療所（平成12年4月1日開設、一部事務組合下北医療センターから指定管理）

(1) 診療業務

- ア 入院 病床数 19床（一般）
年間患者数 3,577人（一日平均9.8人）
病床稼働率 55.1%
- イ 外来 年間患者数 17,751人（一日平均61人）
- ウ 健康診断 年間利用者数 1,750人
- エ 介護保険 居宅療養管理指導 年間件数 640件（一月平均53.3件）
訪問看護 年間件数 400件（一月平均33.3件）

(2) 東通村保健福祉センター、老健のはなしょうぶ、白糠診療所及び六ヶ所村医療センターとの連携及び支援

- ア 看護師等相互派遣
- イ 保健・医療・福祉施策の連携

(3) 在宅医療の充実

(4) 産業保健、被曝医療への取り組み

(5) 協力型臨床研修施設

協力型臨床研修施設として研修医の受け入れ

(6) 外部研修医・研修生受け入れ

外部医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する

(7) その他特記事項等

ヘルスプロモーションカーを活用した包括ケアの実践

1.2 奥日光診療所（平成12年5月1日開設、日光市から指定管理）

(1) 診療業務

外 来 年間患者数 2,655人（一日平均8.5人）

(2) 施設機器設備整備

レントゲン、心電図、超音波診断装置、内視鏡（行政対応）

(3) 日光市民病院との連携

ア 職員（看護師等）相互派遣

イ 医療の連携

1.3 伊東市民病院（平成13年3月1日開設、伊東市から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院 稼働病床数186床（承認病床数250床）

年間患者数 63,510人（一日平均 175.0人）

病床稼働率 94.1%

（一般急性期病棟） 86床 年間患者数 29,930人（一日平均 82.0人）

病床稼働率 95.3%

（地域包括医療病棟） 50床 年間患者数 17,155人（一日平均 47.0人）

病床稼働率 94.0%

（HCU病棟） 8床 年間患者数 2,190人（一日平均 6.0人）

病床稼働率 75.0%

（回復期リハ病棟） 42床 年間患者数 14,600人（一日平均 40.0人）

病床稼働率 95.2%

イ 外 来 年間患者数 98,400人（一日平均 410.0人）

（診療実日数 240日）

(3) 保健予防活動

ア 健康診断 年間利用者数 6,500件

イ 予防接種 年間利用者数 950件

ウ 人間ドック 年間利用者数 750件

エ 新生児健康診断 年間算定件数 110件

オ 特定健康診断 年間利用者数 100件

カ 特定保健指導 年間利用者数 400件

キ 妊婦保健指導 年間算定件数 700件

- (4) へき地医療に関すること
 - ア へき地診療所等との連携・支援
 - イ 医師の派遣及び医療技術員の支援
- (5) 研修に関すること
 - ア 基幹型臨床研修病院として初期研修医を受け入れる
ジュニアレジデント13名（1年目6名、2年目7名）
 - イ 専攻医の積極的な受け入れ
シニアレジデント 6名
 - ウ 特定ケア看護師（NDC）の育成
 - エ 薬剤師レジデント制度の円滑な運用
- (6) 施設機器設備整備
 - ア 医療機器
 - ・手術用ベッドサイドモニター
 - ・コンピュータ断層撮影装置（CT）
 - ・カラーコピー機2台
- (7) 奨学金等の貸与
看護師、助産師、薬剤師確保のため、希望する者に対し入学後の奨学金を貸与する。
- (8) 強化項目
 - ア 中核病院としての機能の維持・強化（救急、循環器疾患、脳梗塞等）
 - イ 病床機能ごとの効率的な運用（HCU、一般急性期、地域包括医療、回復期リハ）
 - ウ 周産期医療の継続
 - エ 人材確保対策（医師、薬剤師、看護師、助産師、看護助手）
 - オ 認知症疾患医療センターの継続
 - カ 健診センター業務（人間ドック、企業健診）の拡充
 - キ 栄養指導・服薬指導等の拡大
- (9) 支出削減に向けた取り組み
 - ア 業務の効率化、IT化の推進による適正な人員配置、時間外勤務の削減
 - イ 保守料、業務委託契約の見直し
 - ウ 在庫管理の強化（適正配置、期限切れの削減）
 - エ 節電対策の強化

(10) その他の特記事項

- ア 医師の働き方改革への対応の継続
- イ 医療安全管理体制の強化
- ウ 教育・研修の充実
- エ チーム医療の推進
- オ 医療DXへの対応
- カ 地域交流の推進（情報発信、公開講座、出前講座）
- キ 7疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、喘息、肝炎、精神疾患）5事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）への取り組み
- ク 伊豆ジャデコム会議の継続・活用
- ケ 無料低額制度の継続
- コ 病院のイメージアップ作戦の展開

14 揖斐川町春日診療所（平成13年7月1日開設、揖斐川町から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 外来 年間患者数 年間患者数 4,380人（一日平均 20.0人）
- イ 介護保険
 - (ア) 訪問看護 年間利用者数 176人（一日平均 0.8人）
 - (イ) 居宅療養管理指導 年間利用者数 460人（一日平均 2.1人）

(2) 保健予防活動

- ア 健康診断 年間受診者数 177件
- イ 予防接種 年間接種者数 409件
- ウ その他 近隣中学校、事業所の健康管理等の委託

(3) へき地医療の支援に関すること

- ア いびがわ診療所、揖斐郡北西部地域医療センター、谷汲中央診療所と連携し、地域の診療所の支援及び周辺地域の代診の要望に対応する。
- イ 町と連携し、春日地区における医療、保健、福祉施策等との連携と支援を行う
- エ 町から移動診療車の支援を受け、医療資源の乏しい過疎地において巡回診療を実施する。

(4) 研修生受け入れ

医学生等に地域における研修の場を提供する。

(5) 保健指導

町と連携し住民の保健指導を行う。

(6) その他特記事項等

機能強化在宅支援診療所として、24時間体制にて診療を行う。

15 西吾妻福祉病院（平成14年2月1日開設、西吾妻福祉病院組合から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院	病床数	74床（うち一般病棟37床、地域包括ケア病棟37床）
	年間患者数	19,163人（一日平均 52.5人）
	病床稼働率	71.0%
イ 外来	年間患者数	27,740人（一日平均 95.0人）
ウ 予防接種	年間利用者数	3,600人
エ 健康診断	年間利用者数	360人
オ 人間ドック	年間利用者数	96人
カ 介護保険		

(ア) 通所リハビリ（定員35名） 年間利用者数6,193人（一日平均 21.5人）

(イ) 訪問リハビリ 年間利用者数4,352人（一日平均 17.0人）

(ウ) 訪問看護ステーション

看護 年間利用者数3,885人（一日平均 15.0人）

リハ 年間利用者数2,072人（一日平均 8.0人）

(エ) 居宅介護支援 ケアプラン 年間作成件数396件（月平均 33.0件）

(2) へき地拠点病院運営等

へき地診療所等との連携・支援

(3) 研修医・研修生受け入れ

ア 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医を受け入れる。

イ 医師、医学生、看護学生、コメディカル等に地域における研修の場を提供する。

(4) 奨学金の貸与及び早期返済支援

薬剤師・看護師確保のため、資格を得ようとする者に対し、奨学金の貸与を行う。

また、薬剤師の資格を得た者に対し、奨学金の早期返済支援を行う。

(5) 施設機器設備整備

ア 医療機器

(ア) 画像ファイリングシステムサーバ機材更新 (行政対応)

(イ) 文書管理・共有ファイルサーバー機材更新 (行政対応)

(ウ) 全自動総合血液学分析装置 (行政対応)

イ 施設設備等

(ア) 駐車場増設工事 (行政対応)

(イ) 厨房改修工事 (行政対応)

(ウ) サーバー室 空調機更新作業 (行政対応)

(6) その他特記事項

- ア 医師、薬剤師の確保を図る
- イ 服薬指導、栄養指導の充実を図る
- ウ 在宅医療の充実を図る

16 介護老人保健施設につこう（平成14年4月1日開設、直営）

(1) 介護老人保健施設業務

- ア 入所 定員 45人
年間入所者数 15,695人（一日平均 43.0人）
ベッド利用率 95.6%
- イ 短期入所 定員 5人
年間入所者数 1,278人（一日平均 3.5人）
ベッド利用率 70.0%
- ウ 通所リハビリ 定員 20人
年間利用者数 4,131人（一日平均 16.5人）
利用率 82.5%

(2) その他特記事項

- ア 地域との連携活動の推進による住民福祉の向上を図る。
- イ 在宅復帰率を高める。

17 横須賀市立総合医療センター（令和7年2月28日まで横須賀市立うわまち病院）
（平成14年7月1日開設、横須賀市から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 入院 病床数 450床（一般403、回りハ41、感染6）
年間患者数 124,940人（一日平均342.3人）
病床稼働率 80.2%
- イ 外来 年間患者数 178,704人（一日平均612.0人）

(2) 施設機器設備整備

【医療機器】

1	高気圧酸素治療装置	7	乳房撮影装置用サーバー
2	超音波内視鏡装置	8	バッテリー式骨手術装置
3	多用途透析監視用装置	9	脊椎手術用開創器
4	スケールベッド	10	視力検査装置
5	電動ベッド	11	読影用モニタ
6	神経刺激装置	12	輸液ポンプ

(3) へき地医療の支援に関すること

へき地の医療機関を支援する。

(4) 研修に関すること

ア 臨床研修センターの運営

初期臨床研修医 16名

専攻医 10名

イ 研修医・研修生受け入れ

医師、医学生、看護師、看護学生等に地域における研修の場を提供する。

(5) 奨学金の貸与

看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。

医師確保のために奨学金貸与を行う。

(6) その他特記事項

横須賀市立総合医療センター移転後の中長期収支計画においては、移転後6年目までは久里浜地域での診療連携等を深めたうえで集患には時間を要することや、新たに更新した電子カルテ等の減価償却費や昨今の物価高、人件費増、水道光熱費等の経費増加により、大幅な赤字を見込んでいた。移転初年度である令和7年度は、管理者を筆頭に各診療科部長等による診療所や近隣医療機関へのあいさつ回りを実施する等、新たな地域における積極的な集患対策等を行ったこと、移転開院という負荷の高い状況下にもかかわらず職員が集患・受け入れを積極的に行ったこと等から、当初の見込みよりも入院、外来共に想定を上回る診療実績の見込みであり、当初の収支計画より大幅な改善が図られている。この取り組みを継続し、安定した病院経営を目指す。

18 湯沢町保健医療センター（平成14年8月21日開設、湯沢町から指定管理）

（1）診療業務

ア 入院	病床数	40床	7,450人（一日平均 20.4人）
	病床稼働率		51.1%
イ 外来	医科年間延患者数	33,900人	（一日平均 116.5人）
	歯科年間延患者数	8,690人	（一日平均 34.2人）
ウ 医療保険	訪問看護	年間利用者延数	20件
	訪問診療	年間利用者延数	230件
エ 介護保険	介護医療院	入所患者延数（定員40人）	
		12,410人（一日平均 34.0人）	
	利用率	85.0%	
	訪問リハビリテーション	年間利用者延数	550件
オ 保健予防活動	健康診断	年間利用者数	1,800人
	予防接種	年間利用者数	5,790人
	人間ドック	年間利用者数	950人
	特定健診	年間利用者数	470人
	特定保健指導	年間利用者数	270人

（2）施設機器設備整備（全て行政対応）

ア 医療機器等	生化学自動分析装置、尿定性検査機器、便潜血分析装置、歯科ユニット、セントラルモニタ・医用テレメータ送信機器一式、除細動器、試薬冷蔵庫、他
イ 事務機器	オンライン予約システム、AI問診システム、電子処方箋、他
ウ 施設設備	誘導灯器具更新、便座ウオシュレット更新、オートクレーブ更新、施設設備中長期計画に基づく整備、他

（3）へき地医療の支援に関すること

今泉記念館ゆきあかり診療所をはじめ、へき地・離島等への医師派遣、代診支援を行う。

（4）研修に関すること

- ア 協力型臨床研修病院として、初期研修医の受入れ。
- イ 地域医療型後期研修プログラム病院として、専攻医の受入れ。
- ウ 医学生、看護学生、救急救命士、医療技術職等及び近隣中高校生等の見学、実習受入れ。

（5）奨学金の貸与

看護師確保の為、看護学生に看護奨学金の貸与。

（6）児童のための社会福祉事業

病児・病後児保育事業運営の継続。（湯沢町との契約）

(7) その他特記事項

- ア 近隣医療機関、介護福祉施設等との連携強化
- イ 在宅支援病院として在宅医療の充実
- ウ 今泉記念館ゆきあかり診療所との連携強化
- エ 院内託児室、運営の継続
- オ 施設設備中長期計画の遂行
- カ 職員確保と若年層の採用、育成、幹部候補職員の育成と教育
- キ 令和8年度から5年間、指定管理更新

19 加賀地域医療支援センター（山中温泉医療センター跡地に平成28年4月1日診療所開設、開設者加賀市と指定管理の契約、令和8年4月1日福祉事業を除き加賀市へ事業移管）

(1) 福祉事業

児童発達支援センターこのゆびと一まれ山中（開設者 地域医療振興協会）

加賀市唯一の児童発達支援センターとして利用者登録は30人を見込む。通所施設として医療的ケア児の受け入れ、放課後等児童デイサービス、保育所訪問事業等を行う。非常勤看護師が就業したことにより未就学児受入要望に応える。加賀市への事業移管を予定していたが、調整不調につき令和8年7月末まで事業継続。

(2) その他特記事項

- ア 診療所の指定管理期間到来（令和7年度末）に伴い、山中温泉ぬくもり診療所については、加賀市へ事業移管。
- イ 自主事業の児童発達支援センターは加賀市との調整不調の為、4ヶ月事業継続する。

20 東通村介護老人保健施設のはなしょうぶ（平成15年4月1日開設、東通村から指定管理）

(1) 介護老人保健施設業務

- ア 入所 定員 54人（内短期入所 5人）
年間入所者数 17,703人（一日平均 52人）
ベッド利用率 96.0%（入所=47.0人 短期入所=5人）
※令和8年4月、定員50床から54床へ増床予定（長期49床、短期5床）
- イ 通所リハビリテーション 定員25人
年間通所者数 6,665人（一日平均 21.5人）
営業日数 310日
- ウ 訪問リハビリテーション
年間利用者数 624人（一月平均 52.0人）

2.1 公設宮代福祉医療センター（平成15年10月1日開設、宮代町から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院	病床数	19床
	年間患者数	0人（一日平均 0人）
	病床稼働率	0%
イ 外来	年間患者数	31,244人（一日平均 107人）

(2) 老人保健施設業務

ア 入所	定員	80人
		26,426人（一日平均 72.4人）
		ベッド利用率90.5%
イ 通所リハビリ	定員	50人
	年間利用者数	6,132人（一日平均 21人）
		稼働率42%

(3) 介護保険訪問業務

訪問リハビリ	年間利用者数	1,234人（一日平均 5.1人）
--------	--------	-------------------

(4) 在宅介護支援センター・居宅介護支援業務

ケアプラン	年間作成件数	450件（月平均37.5件）
-------	--------	----------------

(5) 施設機器設備整備

外壁等大規模修繕（行政対応）

(6) へき地医療の支援に関すること

- ア へき地等への医師派遣・代診を行う
- イ へき地等への職員等の派遣を行う。

(7) 研修に関すること

実習生受け入れ

状況によりリハビリ学生、介護学生、大学生教職課程の介護実習として、地域における研修の場を提供する。

2.2 市立恵那病院（平成15年12月1日開設、恵那市から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院	病床数	161床
	年間患者数	41,610人（一日平均 114.0人）
	病床稼働率	57.3%
イ 外来	年間患者数	68,685人（一日平均 285.0人）
ウ 健診	年間利用数	3,960人（一日平均 16.4人）
エ 人間ドック	年間利用数	732人（一日平均 3.0人）

(2) 通所リハビリ業務	定員	40人	稼働率	53.3%
	年間利用数	5,122人（一日平均	21.3人）	

(3) 訪問看護業務

年間利用数 8, 435人 (一日平均 35.0人)

(4) 院内保育業務

定員 23人 稼働日数 265日

年間利用数 4, 515人 (一日平均 17.0人)

(5) 施設機器設備整備 (行政対応)

ア スチームコンベクションオープン	1式
イ セントラスモニタ	1式
ウ 手動式除細動器	1式
エ 全自動錠剤分包機	1式
オ 汎用超音波画像診断装置	1式
カ 治療用電気手術器	1式
キ 眼科用電動患者椅子	1式

(6) へき地医療の支援に関すること

ア へき地診療所等との連携・支援

山岡診療所への診療支援をする。

イ 医師及び看護師及び医療技術員の派遣

山岡診療所の医師不在時に医師、看護師を派遣する。

老健ひまわりへ医師、看護師、介護福祉士、理学(作業)療法士を派遣する。

津保川診療所の医師不在時に医師を派遣する。

(7) 研修に関すること

ア 専門研修基幹病院として研修医を受け入れる。

プログラム名： 中山道恵那総合診療地域包括医療研修プログラム

連携施設：中濃厚生病院、国保坂下診療所、飛騨市民病院、恵那市国保山岡診療所

恵那市国保岩村診療所、恵那市国保上矢作病院、シティ・タワー診療所など

20医療機関

イ 協力型臨床研修病院(臨床研修協力施設)として研修医を受け入れる。

基幹病院：岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、名古屋徳洲会総合病院

岐阜県立多治見病院、愛知医科大学病院、多治見市民病院

横須賀市立うわまち病院、練馬光が丘病院、台東区立台東病院など22医療機関

ウ 学生等に、地域における研修の場を提供する。

岐阜大学(医師)、愛知医科大学(医師)、自治医科大学(医師)、筑波大学(医師)

下呂看護専門学校(看護師)、中京学院大学(看護師)、東名古屋病院附属リハビリテー

ション学院(PT)、藤田医科大学(OT)など15医療機関等

(8) 奨学金の貸与

- ア 看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。
- イ 薬剤師確保のため、薬学部入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。

(9) その他特記事項等

- ア 振興感染症対策の継続
- イ 地域包括ケアの充実
- ウ 医師確保対策の強化
- エ 開業医への逆紹介推進による勤務医負担軽減
- オ 透析、外来化学療法、周産期医療、訪問看護の充実
- カ 認定看護師の配置（感染管理・がん性疼痛・がん化学療法・糖尿病・認知症・摂食嚥下・皮膚排泄ケア・訪問看護）
- キ 診療の効率化及びDPC効果の向上（診療情報管理機能の充実）
- ク 広報活動及び地域連携の活性化に伴う紹介患者の増加及び開放病床の利用拡大
- ケ 専門外来の積極的な展開（物忘れ外来・禁煙外来・ペースメーカー外来・乳腺外来・助産師外来）
- コ パパママ学級等の恵那市事業参加の継続
- サ 透析部門の患者数拡大及び糖尿病透析予防・慢性腎臓病療養指導管理料の件数増
- シ 健康管理センター特定保健指導件数の増
- ス 週休二日制導入（土曜診療の休診・働き方改革の推進）
- セ 内科タブレット問診の導入
- ソ 病棟夜勤2名体制へ変更
- タ 電力会社、エレベーター保守業者を変更し経費削減を図る。

23 東京北医療センター介護老人保健施設さくらの杜（平成16年1月開設、平成26年3月10日独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構から譲渡され、直営となり名称変更）

(1) 介護老人保健施設業務

- ア 入所 定員 97人
年間利用者数 33,799人（一日平均92.6人） ベッド利用率95.5%
短期 定員 3人
年間利用者数 876人（一日平均2.4人） ベッド利用率80.0%
- イ 通所リハビリ 定員 60人
年間利用者数 9,240人（一日平均30.0人） 稼働率50.0%

(2) 居宅介護支援業務

- ケアプラン 年間作成件数 550件（一月平均 45.8件）

(3) 施設機器設備整備

- 通所送迎車両更新

(4) 研修に関すること

- ア 医師・医学生等への研修の場を提供
- イ 看護学生、理学・作業療法学生、介護学生・ヘルパー実習生の受け入れ

(5) その他特記事項

- ア 地域包括ケアシステムの中で在宅復帰を推進し超強化型施設を維持する。
- イ システム導入等、働きやすい職場環境を整備し、看護師、介護福祉士、理学・作業療法士を確保する。
- ウ 近隣の医療機関、居宅介護支援事業所等との連携強化に努める。
- エ 地域活動に積極的に参加し、地域の福祉力向上に貢献する。

2.4 東京北医療センター（平成16年1月開設、平成26年3月10日独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構から譲渡され、直営となり名称変更）

(1) 診療業務

ア 入院	病床数	351床
	年間患者数	112,749人（一日平均 308.9人）
	病床稼働率	88.0%
イ 外来	年間患者数	215,175人（一日平均 736.9人）
ウ 介護保険		
エ 健康管理センター		
（ア）協会健保健診	年間利用者数	5,150人（一日平均 17.6人）
（イ）人間ドック	年間利用者数	1,584人（一日平均 5.4人）
（ウ）特定健診	年間利用者数	1,630人（一日平均 5.6人）
（エ）特定保健指導	年間利用者数	720人（一日平均 2.5人）
（オ）乳がん検診	年間利用者数	410人（一日平均 1.4人）

(2) 施設機器設備整備

- 各種検査機器更新（リース）
- 各科手術機械・器具更新（購入）

(3) へき地医療の支援に関すること

- ア へき地等への医師、看護師、薬剤師及び医療技術員の支援派遣
- イ 遠隔画像診断
- ウ へき地離島等の妊婦等受入

(4) 研修に関すること

ア 臨床研修センターの運営

初期研修医 19名

専攻医 31名

(内訳：総合診療科 22名、内科 3名、小児科 2名、外科 4名)

専従指導医 1名

イ 研修医・研修生受け入れ

医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。

看護、リハビリ、薬剤、栄養、事務等の学生に実習の場を提供する。

ウ 医師再研修の受入

へき地診療所、へき地中核病院等への就職を希望する医師に対して、へき地において必要な総合的な医療知識・医療技術を身につける研修の場を提供する。

(5) 奨学金等の貸与

ア 看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。

イ 認定看護師等養成のため、休職する看護師に対し支援金の貸与を行う。

(6) 地域との連携

ア 地域医療支援病院（平成30年8月30日東京都知事承認）

イ 同 運営連絡協議会の開催

ウ 地域連携の会の開催

エ 北区医師会北区在宅療養患者・高齢者搬送支援事業

『北区在宅医療サポート搬送入院システム』の取扱い数増加

オ 公開講座、症例検討会の開催

カ 北区が実施する乳児、三歳児健診及び女性の健康相談への医師派遣

キ 災害拠点病院としての、区役所、医師会及び地域消防、自治会、関係団体等々との災害訓練の実施

ク 北区委託事業の病児病後児保育事業

ケ 同 の産後ケア事業

コ DMAT 研修

9月5・6日に、政府の総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練に参加。日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震発生による北海道、青森県、岩手県、宮城県を被災地と想定して災害派遣医療チーム（DMAT）の参集、活動、医療搬送等の図上・実動訓練にて、東北自動車道岩手山SA下り集合。活動拠点本部の青森県八戸市YSアリーナ八戸にて訓練に参加。

(7) その他

- ア 診療連携強化 (紹介・逆紹介率の向上)
- イ 地域の医療者への講習研修の実施
- ウ 臨床研究への取り組み強化
- エ DMA T隊員の養成
- オ 治験
- カ 放射線治療部門等新棟建設・運営開始
- キ SDGs への取り組み
- ク Let's SE-TSU-DEN の取り組み (節電対策)
- ケ 和痛(無痛)分娩実施

25 市立奈良病院 (平成16年12月1日開設、奈良市から指定管理)

(1) 診療業務

ア 入院	病床数	320床
	年間患者数	101,835人 (一日平均 279.0人)
	病床稼働率	87.2%
イ 外来	年間患者数	179,032人 (一日平均 739.8人)

(2) 施設機器設備整備

脳アンギオ、検査機器、患者支援センター集約化改修工事等

(3) へき地医療の支援に関すること

ア へき地拠点病院運営等

(ア) へき地診療所等との連携・支援

奈良市立柳生診療所、奈良市立田原診療所、奈良市立月ヶ瀬診療所、奈良市立都祁診療所、明日香村国民健康保険診療所、奈良市立興東診療所の支援 (診療・事務等)

(イ) 医師の派遣及び医療技術員の支援

イ へき地等への医師派遣 奈良県内のへき地診療所への代診医派遣

(ア) 代診医派遣

(4) 研修に関すること

臨床研修センターの運営

ア 初期研修医 17名 (うち、J1:9名、J2:8名)

イ 専攻医 21名

呼吸器内科 1名、腎臓内科 1名、循環器内科 2名、消化器内科 4名、
乳腺外科 1名、四肢外傷 1名、形成外科 1名、小児科 1名、
眼科 1名、麻酔科 1名、総合診療科 7名

(5) 奈良市立看護専門学校の運営

- ア 3年制の看護専門学校とし、1学年40人で平成25年4月1日に開校
- イ 奈良市から委託を受けて教務部門等の運営を行う。
- ウ 主たる実習施設として協力する。
- エ 校舎は当協会で建設し奈良市に無償貸与している。
- オ 備品、教材等については当協会が購入し、奈良市へ提供している。

(6) 奨学金の貸与

看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。

(7) その他特記事項

診療機能の強化

- ア 医師及び看護師等の増員
- イ 地域医療連携の推進
- ウ ドクターカー運用の充実
- エ 地域がん診療拠点病院としての機能強化
- オ 災害拠点病院としての機能強化
- カ エイズ診療の充実
- キ 病児病後児保育

26 公立黒川病院（平成17年4月1日開設、黒川地域行政事務組合から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 入院 病床数 170床
年間患者数 46,461人（一日平均 127.3人）
病床稼働率 74.9%
- イ 外来 年間患者数 53,173人（一日平均 181.5人）
- ウ 介護保険
 - (ア) 訪問看護
年間利用者数 4,375人（一日平均 14.9人）
 - (イ) 訪問リハビリテーション
年間利用者数 4,374人（一日平均 18.1人）
 - (ウ) 通所リハビリテーション
休止中

(2) 施設機器設備整備

ア 医療機器

- ・上部内視鏡スコープ [行政対応]
- ・下部内視鏡スコープ [行政対応]
- ・ベッド及びマットレス [行政対応]
- ・無影灯 [行政対応]
- ・スリットランプ/スマートテーブル [行政対応]
- ・オートレフケラト/トノ/パキメータ [行政対応]
- ・オートレンズメーター [行政対応]
- ・調剤支援システム [行政対応]

イ 施設設備

- ・冷凍機 [行政対応]
- ・外調機 [行政対応]
- ・発電機回路 [行政対応]
- ・エレベータ防火スクリーン改修工事 [行政対応]
- ・高圧電気設備更新 [行政対応]
- ・パッケージエアコン [行政対応]

(3) へき地医療の支援に関すること

宮城県へき地医療拠点病院として、へき地診療所である七ヶ宿診療所等への診療支援の実施

(4) 研修に関すること

ア 初期研修医、後期研修医の地域医療研修受け入れ
病院総合診療医研修施設

イ 医学生の学生実習の受け入れ
医学生に、地域における研修の場を提供

ウ 看護学生の学生実習の受け入れ
看護学生に、地域における研修の場を提供

エ 医療職学生（リハビリ、栄養学生等）の受け入れ
医療職学生に、地域における研修の場を提供

オ 消防学生及び救急救命士実習の受け入れ
消防学生及び救急救命士に、病院での研修の場を提供

カ 地域の職場体験の受け入れ
地域の学校の職場体験に、研修の場を提供

(5) その他特記事項等

特になし

27 いなずさ診療所（平成17年6月1日開設、直営）

(1) 診療業務

ア 外来 年間患者数 6,265人（一日平均 23.7人）

訪問診療 年間患者数 346人（一日平均 1.3人）

イ 保健予防活動

(ア) 予防接種 年間利用者数 967人（一日平均 3.7人）

その他下田市集団接種に医師派遣

(2) 研修に関すること

教育研修への取り組み（研修医・医学生・看護学生受け入れ）

地域医療を研修する研修医等を、当協会及び協会外の施設から一回に1～2名を1週間～3ヶ月程度の期間で受け入れる。

(3) その他特記事項等

在宅医療への取り組み。

週4日を目安に訪問診療に取り組み、1日1件程度の訪問診療を行う予定である。

その他、診療時間外を含む往診も行う予定である。

28 伊東市介護老人保健施設みはらし（平成18年4月1日開設、伊東市から指定管理）

(1) 介護老人保健施設業務

ア 入所 定員 125人（内、短期入所13人）

年間入所者数 41,245人（一日平均 113人） ベッド利用率90.4%

イ 通所リハビリ 定員30人

年間入所者数 7,700人（一日平均 25人） 稼働率83.3%

(2) 研修に関すること

ア 実習生・研修生受け入れ

理学療法士、作業療法士、介護士養成所等（学生）、中・高学生の職場体験の受け入れをする。

イ 専門職として知識、技術の向上

研修会、勉強会への参加

介護福祉士実習指導者の育成

相談部門の法定外研修への参加

(3) 強化項目

ア 在宅復帰

(ア) 在宅復帰率の維持（利用者、家族への在宅サービスの提案）

(イ) 入所前後の訪問指導の実施件数の増加

- イ 個別ケアの充実
 - (ア) 個別のケアマネジメントの為の自己研鑽に努める
 - (イ) 適切なアセスメントによる安心・安全なケア
(各委員会で具体的行動内容まで検討し意思統一に努める)
 - (ウ) いきいきとした楽しい生活の提供と生活機能の維持向上
- ウ リハビリ機能の充実
 - (ア) 生活リハビリの強化
 - (イ) 短期集中リハビリテーションの維持
 - (ウ) 短期入所の個別リハビリ実施率の維持
 - (エ) LIFE のフィードバックを活用し、計画書の見直しをして、PDCAサイクルの推進、ケアの向上を目指す
 - (オ) 入所リハビリテーションマネジメント計画書情報加算Ⅱを算定する
- エ 専門職としてのチーム意識
 - (ア) 施設内の情報共有と協働した行動をとる
 - (イ) 利用者様を中心としたケア目標、方針の共有（カンファレンスの充実）
- オ 地域への情報発信・地域連携
 - (ア) 地域への情報発信（勉強会、懇談会）
 - (イ) 関係機関との合同カンファレンス・研修会
 - (ウ) 伊東市民病院との連携
 - (エ) ボランティアとの連携
- カ 安定した経営
 - (ア) 通所リハビリ利用者の増加（みはらし退所者への利用促進）
 - (イ) 伊東市民病院との連携強化による入所利用者の増加
 - (ウ) 近隣市町の利用率向上（定期的な広報と月1回の訪問営業活動）
 - (エ) 利用率に応じた適正な人員配置
 - (オ) 入所判定決定後の速やかな入所（フロア間のベッドコントロール）
- キ 業務継続に向けた取り組み
 - (ア) 感染症対策の継続、研修会の開催
 - (イ) リスクマネジメントの強化を図る
 - (ウ) 看取りへの対応の充実を図る
 - (エ) BCPの研修会の開催、シミュレーション訓練の実施
 - (オ) レンタル用品（利用者の日用品等）の導入による職員の業務負担軽減
 - (カ) 施設内照明器具（居室）のLED化による節電対策

29 村立東海病院（平成18年5月1日開設、東海村から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 入院 病床数 80床（一般40床・地域包括40床）
年間患者数 23,542人（一日平均 64.5人）
病床稼働率 84.5%
- イ 外来 年間患者数 64,240人（一日平均 220.0人）
- ウ 介護保険
 - (ア) 通所リハビリテーション 年間利用者数 1,928人（一日平均8人）
 - (イ) 訪問看護 年間利用者数 846人（一日平均2.9人）

(2) 保健予防活動

- ア 人間ドック 年間受診者数 635人（一日平均2.6人）
- イ 企業健診 年間受診者数 2,381人（一日平均9.8人）
- ウ 乳がん検診 年間受診者数 1,000人（一日平均4.1人）
- エ 子宮がん検診 年間受診者数 850人（一日平均17.7人）
- オ 予防接種
 - (ア) 新型コロナ 年間接種者数 210人
 - (イ) インフルエンザ 年間接種者数 1,920人
 - (ウ) その他 年間接種者数 1,145人

(3) 病児・病後児保育施設

- 利用者延数 年間利用者数 400人（一日平均1.6人）

(4) 施設機器設備整備

- ア 医療機器（行政対応）
 - 麻酔記録システム
 - スピード低温滅菌システム
 - 解析機能付心電計
 - 超音波診断装置
 - デフィブリレータ（除細動器）
 - 低床3モーターベッド5台
 - 特室用ベッド2台
 - 耳鼻咽喉科用内視鏡洗浄消毒器2台
 - はかり付きストレッチャー
 - 低床サイドアップ3モーターベッド3台

- イ 医療機器（院内対応）
 - 898型クリーンパーテーション 2台
 - 若杉氏側部支持器X線透過型 3104個
 - シリンジポンプ
 - クーデックキューインポッドジョー 5台
 - サイドコール・コードレス
 - 座コール メロディータイプ 4セット
 - ポータブルエコー
 - キャスター付き歩行器
 - 前腕支持台歩行補助具
 - 固定型歩行器
- ウ 一般機器（行政対応）
 - 食器消毒保管庫
- エ 一般機器（院内対応）
 - 業務用除湿乾燥機
 - スーパーシリーズ ステンレスカート UTS カート
 - ステンレス製 折りたたみ式テーブルワゴン
 - 折りたたみ式 木製 肘掛け椅子
 - 患者用食器一式（2年目）
- オ 施設設備（行政対応）
 - なし

(5) へき地医療の支援に関すること

要望により可能な限りへき地等への医師派遣・代診を行う。

(6) 研修に関すること

ア 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医を受け入れる。

イ 研修医・研修生受け入れ

医師・医学生、各職種学生に、地域における研修の場を提供する。

(7) 奨学金の貸与

看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。

(8) その他特記事項等

- ア 二次・三次医療機関からの下り搬送患者受入及び新型コロナウイルス感染症等新興感染症患者の後方支援病院として患者受入をするなどし、連携強化を図る。
- イ 在宅事業の強化（訪問診療、訪問看護、通所リハビリ等）
- ウ 栄養指導・服薬指導の充実を図る。
- エ 医師確保のため近隣基幹病院、大学を定期的に訪問する。
- オ 医療・介護の連携を強化する。
- カ 働き方改革を推進していく。

30 地域包括ケアセンターいぶき（平成18年4月1日開設、米原市から指定管理）

(1) 診療業務

ア 外来	年間患者数	18,125人（一日平均 75.2人）
イ 往診・訪問診療		1,645人（一日平均 6.8人）
ウ 居宅療養管理指導	年間利用者数	1,128人（一日平均 4.7人）

(2) 訪問業務

ア 訪問看護（みなし）	年間利用者数	540人（一日平均 2.2人）
イ 訪問リハビリ	年間利用者数	822人（一日平均 3.4人）

(3) 介護老人保健施設業務

定員 60人（短期入所含む）

ア 入所	年間入所者数	13,870人（一日平均 38.0人）
イ 短期	年間入所者数	6,570人（一日平均 18.0人）
	ベッド利用率	93.3%
ウ 通所リハビリテーション	定員	25人
	年間利用者数	4,579人（一日平均 19.0人）
	稼働率	76.0%

(4) 居宅介護支援業務

ケアプラン	年間作成件数	1,080件（月平均 90.0件）
-------	--------	-------------------

(5) 研修に関すること

- ア 臨床研修協力施設として研修医を受け入れる。
- イ 医師、医学生・看護学生・医療技術職学生等に地域研修の場を提供する。

(6) その他特記事項

ア 在宅支援の充実

- (ア) 在宅での療養生活を支えるため、これまで同様、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、居宅介護支援業務および老健の短期入所について充実したサービスを提供する。

(イ) 在宅療養支援診療所（診療所）の24時間対応、特定事業所（居宅介護事業所）で24時間体制にて在宅支援を行う。

イ 乳幼児健診及び学校医、こども園医として保健指導を行う。

ウ 地域住民と協力した夏祭りの開催など、地域の活性化を図る事業を行う。

エ 運営の安定化を目指し、業務改善に取り組む。

3.1 おおい町保健・医療・福祉総合施設事業及び事業計画（平成18年4月1日開設、おおい町から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院病床数 19床

年間患者数 2,738人（一日平均 7.5人）

病床稼働率 39.5%

イ 外来年間患者数 13,592人（一日平均 51.0人）

ウ 介護保険

(ア) 訪問看護 年間利用者数 200人（一日平均 0.8人）

(イ) 訪問ハビリ 年間利用者数 200人（一日平均 0.8人）

(2) 老人保健施設業務

ア 入所 定員 50人

年間入所者数 16,060人（一日平均 44.0人） ベッド利用率88.0%

イ 通所ハビリ 定員 40人

年間入所者数 7,196人（一日平均 27.0人） 稼働率67.5%

(3) 保健予防活動業務

ア 健康診断（法令の定期健診、特定健診及び電離放射線健診、採用時健康診断等）

年間受診者数 1,550件

イ 予防接種（集団及び個別接種）

年間受診者数（個別） 1,800件（うち新型コロナワクチン300件）

ウ 人間ドック（国保、健康保険組合等）

年間受診者数 80件

(4) 病児、病後児保育業務

利用定員 4人

年間利用者数 280人（月平均 23.3人）

(5) 施設機器設備整備

ア 医療機器 上部消化管汎用ビデオスコープ（行政対応）

自動体外式除細動器[AED] 3台（行政対応）

心電計【解析機能・架台付】（行政対応）

残尿測定器（行政対応）

コールマット【リリアムワン】（行政対応）

- イ リハビリ機器 有酸素・筋力トレーニングマシン[ニューステップ] (行政対応)
- ウ 介護機器 排泄センサー【ヘルプパッド】 (行政対応)
歩行器 8台 (行政対応)
- エ 給食機器 食器 (行政対応)
- オ 施設設備 施設大規模改修【空調更新・照明LED化】 (行政対応)
- (6) 研修に関すること
 - ア 臨床研修協力施設として、研修医を受け入れ
 - イ 医学生、看護学生、医療技術職学生等の研修及び実習の受け入れ
- (7) 奨学金の貸与
介護人材育成確保のため、令和5年度に受け入れた介護留学生2名に対し、介護福祉士養成専門学校の奨学金等の貸与を行う。
- (8) その他特記事項等
 - ア 在宅医療（訪問診療、訪問看護等）の充実
 - イ 健診・学校医等の協力
 - ウ 産業医業務の実施
 - エ 夕方外来診療の実施（平日週2回、診療時間16:30～18:30）
 - オ 発熱外来の対応等、新型コロナウイルス感染予防対策の徹底
 - カ 通所リハビリテーションの稼働曜日の追加
令和元年9月から変更された祝日を除く月曜日から金曜日を、令和8年4月から土曜日を追加し述べ利用者数の増加を図る。

3.2 志摩地域医療福祉センター（平成20年4月1日開設、志摩市から指定管理）

- (1) 診療業務
 - ア 外来 年間患者数 8,676人（一日平均 36.0人）
- (2) 介護老人保健施設業務
 - ア 入所 定員100人（短期入所含む。）
年間入所者数 35,405人（一日平均 97.0人） ベッド利用率97.0%
 - イ 通所リハビリ 定員40人
年間入所者数 8,266人（一日平均 34.3人） 稼働率85.8%
 - ウ 訪問リハビリ
年間利用者数 1,253人（一日平均 5.2人）
- (3) 研修に関すること
 - ア 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）
協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医を受け入れる。
 - イ 研修医・研修生受け入れ
医師・医学生、理学療法士（学生）、作業療法士（学生）、介護士（学生）等に地域における研修の場を提供する。

ウ 実地見学・研修の場の提供

地域の希望施設からの実地見学・研修の場を提供する。

(4) 奨学金の貸与

看護師等確保のため、看護学校等に入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。

(5) その他特記事項等

志摩市主体で令和6年11月より3箇年計画で行われる介護老人保健施設全体の空調機器更新工事が第2期まで完了、令和8年4月より第3期目の工事着工予定。

3.3 飯塚市立病院（平成20年4月1日開設、飯塚市から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院	病床数	250床
	年間患者数	77,865人（一日平均 213.3人）
	病床稼働率	85.3%

イ 外来	年間患者数	78,690人（一日平均 326.5人）
------	-------	----------------------

ウ 介護保険

(ア) 訪問看護	年間利用者数	119人（一日平均 0.5人）
----------	--------	-----------------

(イ) 居宅療養管理指導	年間利用者数	0人（一日平均 0.0人）
--------------	--------	---------------

(2) 施設機器設備整備

ア 医療機器	高周波手術装置	(購入)
	心臓運動負荷モニタリングシステム	(購入)
	大腸ビデオスコープ	(購入)
	離床センサーベッド	(購入)

(3) へき地拠点病院運営等

ア へき地診療所等との連携・支援

イ 医師の派遣

(4) 協力型臨床研修病院

協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医を受け入れる。

(5) 研修医・研修生受け入れ

医師・医学生等に、地域における研修の場を提供するとともに薬剤・リハビリ・検査・看護等学生・救急隊員等の実習を受入れる。

(6) その他特記事項

- ア 地域医療支援病院として医療の質の向上
- イ 医師確保を行い診療機能の充実を図る
- ウ 災害拠点病院承認に向けた災害医療提供体制の強化
- エ 小児科時間外診療安定的な運用
- オ 循環器医師・泌尿器医師確保による診療体制充実

3.4 市立大村市民病院（平成20年4月1日開設、大村市から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 入院 病床数 212床
年間患者数 69,788人（一日平均 191.2人）
病床稼働率 90.2%
- イ 外来 年間患者数 68,998人（一日平均 286.3人）

(2) 健康管理センター業務

- ア 企業健診等 年間患者数 4,848人
- イ 人間ドック 年間患者数 1,002人
- ウ 特定健診 年間患者数 762人
- エ 特定保健指導 172人
- オ 婦人科健診 年間患者数 778人

(3) 居宅介護支援業務

- 訪問看護ステーション 年間利用者数 588人

(4) 施設機器設備整備

- ア 医療機器 老朽化した医療機器の整備（行政対応）を行う。

(5) へき地医療の支援に関すること

- ア 離島・へき地診療所等との連携・支援
- イ 医師の派遣及び医療技術員の支援

(6) 研修に関すること

- ア 協力型臨床研修病院
協力型臨床研修病院として基幹型臨床研修病院より研修医を受け入れる。
- イ 研修医・研修生受け入れ
医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。

(7) 特定ケア看護師制度

- 看護の専門分野を学習・探究すること、国が定めた特定行為を実施し、良質な医療及び看護の提供を目的として、特定ケア看護師制度受検合格者に対し病院奨学金等の貸与を行う。

(8) その他特記事項

- ア 新病院移転後10年目を迎え、引き続き患者数確保、高額医療機器の共同利用の推進、業務の効率化等を図る
- イ 訪問看護ステーションの利用者増加
- ウ 長崎大学病院との連携による口腔外科の強化、紹介数の増加
- エ 回復期リハビリ及び地域包括ケア病棟有効利用
- オ HCU病棟の効率的な運用
- カ 婦人科手術の増(内視鏡下手術)
- キ 健診事業の充実(2次健診の促進、内視鏡部門の増強、U40健診の実施、特定保健指導の推進等)
- ク 地域医療機関との連携による紹介数の増加及び病棟回転率の上昇、行政・介護施設等との連携及び入退院支援の連携強化(地域医療機関訪問、介護保険施設との協力医療機関連携協定締結、お迎え搬送の推進等)
- ケ 大村市との連携等による、医師確保対策の強化
- コ 病院機能評価受審後・更新に向けた取り組み(TQM活動の促進等)
- サ 高齢者救急医療DXに向けた取り組みの充実(消防隊救急搬送等でのビジュアルトークの活用)

35 奈良市立柳生診療所(平成20年4月1日開設、奈良市から指定管理)

(1) 診療業務

外 来 年間患者数 3,840人(一日平均 16.0人)

(2) 研修に関すること

ア 協力型臨床研修施設

協力型臨床研修施設として研修医を受け入れる。

イ 研修医・研修生受け入れ

医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。

(3) その他特記事項

在宅医療の充実を図る。

36 奈良市立田原診療所(平成20年4月1日開設、奈良市から指定管理)

(1) 診療業務

外 来 年間患者数 1,058人(一日平均 7.2人)

(2) へき地医療の支援に関すること

へき地等への医師派遣・代診を行う。

- (3) 研修に関すること
 - ア 協力型臨床研修施設
協力型臨床研修施設として研修医を受け入れる。
 - イ 研修医・研修生受け入れ
医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。
- (4) その他特記事項
在宅医療の充実を図る。

3.7 上野原市立病院（平成20年10月1日開設、上野原市から指定管理）

- (1) 診療業務
 - ア 入院

病床数	135床（急性期一般85床・地域包括ケア50床）
年間患者数	28,470人（一日平均 78.0人）
平均病床稼働率	57.8%
 - イ 外来

年間患者数	83,220人（一日平均 285.0人）
-------	----------------------
 - ウ 介護保険
 - (ア) 訪問看護 年間利用者数 2,771人（一日平均 11.5人）
 - (イ) 通所リハビリテーション 年間利用者数 1,806人（一日平均 7.5人）
 - エ 人間ドック 年間利用者数 200人
- (2) 施設機器設備整備
 - ア 医療機器（すべて行政対応による購入予定）MRI装置、PACSシステム
 - イ 建物構築物 自己資金による購入予定。
院外保育所開設改修工事
- (3) 事業内容に関すること
 - ア 山梨県富士・東部医療圏域における公的病院としての使命を認識し、山梨県東部地区における地域医療の中核病院として、医療の質と地域の安全と安心を向上させる。
 - イ 医師・看護師の確保、専門診療の充実、救急医療の充実、透析の拡大。
 - ウ 総合診療科の拡充、予防医療・へき地支援等を通じて市民の安全・安心の確保に努める。
 - エ 在宅医療の拡充へ訪問診療・訪問看護・訪問リハの拡大。
 - オ オンライン診療への取り組みを計画。
- (4) へき地医療の支援に関すること
 - ア 市と協力し附属診療所の運営の継続を図る。本院に通院できない市内のへき地に居住する患者を対象として、秋山・西原の2附属診療所の運営を可能な限り継続して行う。
 - イ へき地等への医師派遣・代診を行い、要請に基づき、可能な限りへき地・離島等への医師の派遣・代診を行う。

- (5) 研修に関すること
- ア 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）の取り組み
協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として、地域医療研修センター及び山梨大学医学部附属病院や山梨県立中央病院・山梨赤十字病院より研修医を受け入れる。
 - イ 研修医・研修生受け入れ
本院及び附属診療所の施設を活用し、医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。
 - ウ 令和8年4月に基幹型臨床研修病院として認定予定
基幹型研修施設の取り組みとして研修医の受入の拡大や当院研修医の他病院への研修実施。
- (6) 奨学金の貸与
看護師確保のため、高等学校・看護大学等入学を希望する者に対し入学後の奨学金を貸与する。上野原市が中心となって、看護師以外のコメディカル職の奨学金を貸与が可能となる。
- (7) その他特記事項等
- ア 検査・検診機能の充実
 - イ 外来患者増への取り組み
 - ウ 看護師確保対策の取り組み
 - エ 医療情報システムの整備
 - オ 医療安全の向上を目指す
 - カ 感染防止対策の取り組み
 - キ 働き方改革への対応

38 台東区立台東病院・台東区立老人保健施設千束（平成21年4月1日開院、台東区から指定管理）

- (1) 診療業務
- ア 入院 病床数 120床
年間患者数 39,725人（一日平均 108.8人）
病床稼働率 91.6%
 - イ 外来 年間患者数 65,505人（一日平均 179.5人）
- (2) 老人保健施設業務
- ア 入所 定員 150人
年間入所者数 45,658人（一日平均 125.1人）
ベッド利用率83.4%
 - イ 通所リハビリ 定員50人
年間入所者数 11,754人（一日平均 37.7人） 利用率75.4%
- (3) 居宅介護支援業務
- ケアプラン 年間作成件数 465件（月平均38.8件）

- (4) へき地医療の支援に関すること
 - ア 東京都の島しょ地域等への医師派遣・代診を行う。
 - イ 東京都の島しょ地域等への看護師・介護士派遣を行う。
 - ウ 東京都の島しょ地域等への医療技術員派遣を行う。
- (5) 研修に関すること
 - ア 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）
協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として、研修医等を受け入れる。
 - イ 研修生等受け入れ（雇用力強化）
医師、医学生、PT・OT・ST（学生）、薬剤師、看護師、介護士等の研修の場を提供する。
 - ウ 地域医療のススメ基幹病院
- (6) 奨学金の貸与
 - 看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。
 - 介護福祉士確保のため、養成学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。
- (7) その他特記事項
 - ア 地域連携の強化 各医療機関、介護事業者、区との連絡会、イベントの実施
 - イ 在宅療養支援病院機能強化、訪問リハビリの拡充、居宅介護支援事業
 - ウ 健診業務の実施
 - エ 患者利用者の満足度向上に向けての取り組み
 - オ 公開講習会・勉強会等の実施
 - カ 地域コミュニケーションの場としての施設積極的活用
 - キ 職員の能力向上のための研修体制作りと他職種研修
 - ク 職員の安定確保（離職防止）
 - ケ 在宅療養支援窓口（区委託事業）
 - コ 復職支援事業実施
 - サ 訪問看護ステーション実施（みなし事業）
 - シ 就職説明会への積極的参加（オンライン等含む）
 - ス ヘルスプロモーション事業（禁煙・フレイル等）
 - セ 技能実習生（介護職）の受入および特定技能実習生、介護福祉士への育成
 - ソ 在宅療養患者健康観察事業
 - タ 病院祭の開催
 - チ 医療的ケア児（者）の短期入所事業
 - ツ 地域連携の会の開催
 - テ 空調設備等更新工事

39 山北町立山北診療所（平成20年12月1日開設、山北町から指定管理）

(1) 診療業務

外来 年間患者数 2,433人（1日平均 12.8人）

(2) 保健予防活動

ア 健康診断 年間利用者数 104人

イ 特定健診 年間利用者数 11人

ウ 予防接種 年間利用者数 198人

(3) 研修に関すること

研修医の受け入れを行う

(4) その他特記事項

在宅医療の充実を図る。

これまで月曜日・水曜日は午前午後、火曜日・金曜日は午前の診察を行っていたが、令和8年度より月曜日・火曜日・水曜日の午前午後の診療体制に変更する。

これにより金曜日の医師派遣が無くなり、派遣事務員1名の派遣回数が半分となる為、人件費の負担を抑えることが可能となる。

40 東京ベイ・浦安市川医療センター（平成21年4月1日開設、直営）

(1) 診療業務

ア 入院 病床数 344床

年間患者数 114,694人（一日平均 314.2人）

病床稼働率 91.3%

イ 外来 年間患者数 150,020人（一日平均 513.8人）

(2) 保健予防活動

ア 一般健診 年間患者数 1,800人（一日平均 6.2人）

イ 人間ドック 年間患者数 1,600人（一日平均 5.4人）

ウ 乳児健診 年間患者数 380人（一日平均 1.3人）

エ 妊婦健診 年間患者数 3,200人（一日平均 11.0人）

オ 予防接種 年間患者数 1,400人（一日平均 4.5人）

カ マンモグラフィ 年間患者数 600人（一日平均 2.1人）

(3) 施設機器設備整備

ア 救命救急センターほかの医療機器更新

イ 電子カルテ更新、サイバーセキュリ対応

ウ 空調他各種院内補修工事等

(4) へき地医療の支援に関すること

へき地等への医師派遣・代診を行う。

- (5) 研修に関すること
 - ア 臨床研修センターの運営
 - 初期研修医 15名
 - 専攻医 58名
 - イ 研修医・研修生受け入れ
 - (ア) 医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。
 - (イ) 看護・リハビリ・薬剤・検査・事務等の学生に実習の場を提供する。
- (6) 奨学金の貸与

看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。
- (7) その他特記事項
 - ア 千葉県救命救急センターの実施
 - イ 感染症法に基づく医療措置協定に基づく対応
 - ウ 第2種感染症指定医療機関の実施
 - エ 災害時の拠点病院としての強化
 - オ 地域医療支援病院の実施
 - カ DPC病院としての効率的運営

4.1 横須賀市立市民病院（平成22年4月1日開設、横須賀市から指定管理）

- (1) 診療業務
 - ア 入院
 - 病床数245床（令和8年4～8月）
 - 261床（令和8年9～3月）
 - 年間患者数 61,940人（一日平均 169.7人）
 - 一般・HCU 40,880人（一日平均 112.0人）
 - 包括ケア 8,760人（一日平均 24.0人）
 - 回復期リハ 12,300人（一日平均 33.7人）
 - 病床稼働率 71.1%
 - イ 外来
 - 年間患者数 94,958人（一日平均 325.2人）

(2) 施設機器設備整備

ア 医療機器（行政対応）

- ・内視鏡用炭酸ガス送気装置
- ・大腸ビデオスコープ
- ・内視鏡洗浄消毒器
- ・膀胱用超音波画像診断装置
- ・眼圧計
- ・3次元眼底像撮影装置
- ・標本撮影装置
- ・デジタル式歯科用パノラマ断層撮影X線診断装置
- ・ピックアップサポートシステム
- ・便潜血測定装置
- ・手持型体外式超音波診断用プローブ
- ・電動式低圧吸引機
- ・多用途透析用監視装置
- ・透析通信システム
- ・吸引シミュレータ
- ・エアマットレス
- ・電動ベッド
- ・安全懸架式リハビリテーションリフト
- ・電動昇降式ADLキッチン

(3) 医師研修に関すること

ア 基幹型臨床研修指定病院

基幹型臨床研修指定病院として研修医を受け入れる。

ジュニアレジデント（2年次） 4名

ジュニアレジデント（1年次） 4名

※上記以外に横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターからのたすき掛け研修医（1年次） 2名

イ 研修医・研修生受け入れ

医師・医学生、看護師・看護学生等に、地域における研修の場を提供する。

(4) 病床の再編

令和8年9月から回復期リハビリテーション病棟（50床）を開棟する。

ア 高度急性期（16床） ※稼働12床

HCU16床とする。

イ 急性期（205床） ※稼働165床

3病棟体制とする。

ウ 回復期（118床） ※稼働 8月まで68床、9月から84床

① 地域包括ケア病棟

病床稼働率90%を目指す。急性期からの受け入れ（ポストアキュート）のみでなく、緊急時の受け入れ（サブアキュート）にも力を入れ、安定的な患者確保を目指す。

・引き続き検討が必要な事項

（ア）医師、看護師、リハビリテーション科セラピスト、MSW等関連職種の人員確保を進める

（イ）レスパイトを増やすなど、引き続き地域の開業医等へ働きかけを行う

② 回復期リハビリテーション病棟

病床稼働率90%を目指す。外部からの受け入れを強化する。

・引き続き検討が必要な事項

（ア）医師、看護師、リハビリテーション科セラピスト、MSW等関連職種の人員確保を進める

（イ）上位の施設基準を取得・維持するための関連職種間での持続的検討

（5）総合診療科

外来、入院において高齢化に伴う疾病の重複化、重症化に対して、単一の診療科では診療が難しい場合など、重篤で複雑な疾患に対応し、横断的な診療を行う「総合診療科」を充実させる。

（6）診療科の集約

ア 産科

入院診療は取りやめ、総合医療センターに集約する。なお、妊婦健康診査、産婦健康診査および産後ケアは継続する。

イ 小児科

入院診療は取りやめ、総合医療センターに集約する。外来診療については、診療日数を縮小したうえで継続する。

（7）その他特記事項等

病院機能評価（3rdG:Ver. 3.0）で認定された成果とその維持。

4.2 上河津診療所（平成22年1月12日開設、直営）

（1）診療業務

外 来 年間患者数 7,276人（一日平均 30.6人）

訪問診療 年間患者数 184人（一日平均 0.8人）

（2）保健予防活動

ア 健康診断 採用時健康診断、企業健診等

イ 予防接種 個別接種及び小児予防接種

(3) その他特記事項

- ア 伊豆今井浜病院との連携を図る。
- イ 在宅医療の充実を図る。
- ウ 医療（主治医）とケアマネージャーとの連携。
- エ 医師会に入会した為、関連の健診及び予防接種件数の増加を見込む。

4.3 シティ・タワー診療所（平成22年3月1日開設、直営）

(1) 診療業務

- ア 外来 年間患者数 4,100人（一日平均 13.9人）
- イ 在宅診療 年間患者数 8,534人（一日平均 29.1人）
- ウ 特養回診 年間患者数 1,858人（一日平均 6.3人）
- エ 介護保険 居宅療養管理指導 年間利用者数 324人（一日平均 1.1人）
- オ 他事業所との連携

同一フロアにある福祉施設や地域の事業者と連携して在宅患者への充実したケアを目指す。

(2) 研修に関すること

- ア 岐阜へき地医療支援センターと連携し、医師等に対する研修の場を提供する。
- イ 同一フロアにある福祉施設と連携し、都市部における地域医療の研修の場を提供する。
- ウ 岐阜・滋賀の協会運営施設と連携し、へき地における地域医療と、都市部における地域医療が体験できる環境を作る。
- エ 例年行なっている病院や学校からの医師・医学生等の実習受入を引き続き積極的に行ない、将来の人材育成に努める。

(3) その他特記事項

- ア 医師9名、薬剤師1名、看護師12名、管理栄養士1名、事務7名の人員体制となり、スタッフはほぼ充実した。適切な評価制度システムを取り入れ、人事課題を解決し、持続可能な成長を実現していく。医療を通じて「人」と「地域」に感動を創り出す診療方針のもと、現在までに地域から得てきた信頼を増幅させ、都市部における在宅医療の更なる充実を目指す。また、健康講座などを精力的に実施し市民への安心提供に力を注ぐ。
- イ 引き続き小児在宅医療にも積極的に取り組む。
- ウ スタッフのモチベーション向上のためにも福利厚生面にも気を配り、診療所での労働意欲の向上や精神面の充実によりスタッフが生き生きと働ける環境づくりに努め、より充実した施設運営を図る。
- エ 薬剤師・管理栄養士による栄養指導・服薬指導の充実を図る

4.4 奈良市立月ヶ瀬診療所（平成22年4月1日開設、奈良市から指定管理）

(1) 診療業務

外 来 年間患者数 4,920人（一日平均 20.5人）

(2) 研修に関すること

ア 協力型臨床研修施設

協力型臨床研修施設として研修医を受け入れる。

イ 研修医・研修生受け入れ

医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。

(3) その他特記事項

在宅医療の充実を図る。

4.5 奈良市立都祁診療所（平成22年4月1日開設、奈良市から指定管理）

(1) 診療業務

ア 外 来 年間患者数 12,624人（一日平均 48人）

(2) 研修に関すること

ア 協力型臨床研修施設

協力型臨床研修施設として研修医を受け入れる。

イ 研修医・研修生受け入れ

医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。

(3) その他特記事項

在宅医療の充実を図る。

4.6 明日香村国民健康保険診療所（平成22年4月1日開設、明日香村から指定管理）

(1) 診療業務

外 来 年間患者数 9,198人（一日平均 31.5人）

(2) 研修に関すること

ア 協力型臨床研修施設

協力型臨床研修施設として研修医を受け入れる。

イ 研修医・研修生受け入れ

医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。

(3) その他特記事項

在宅医療の充実を図る。

47 伊豆今井浜病院（平成24年5月1日開設、直営）

(1) 診療業務

ア 入院	病床数	100床
	年間患者数	25,732人（一日平均 70.5人（退院含む））
	病床稼働率	70.5%
イ 外来	年間患者数	48,548人（一日平均 201.4人）
ウ 訪問看護	年間件数	2,699件（介護のみ）
エ 訪問リハ	年間件数	1,205件
オ 保健予防活動		
	健康診断	2,407人
	予防接種	1,545人
	人間ドック	214人
	妊婦保健指導	25人
	乳がん検診	604人

(2) へき地医療の支援に関すること

- ア 南伊豆町内1ヶ所の巡回診療を継続する。
- イ へき地医療拠点病院の指定を維持する。
- ウ 一次・二次救急の輪番を継続する。
- エ いなずさ・上河津・伊豆下田各診療所との連携及び支援体制を継続する。
- オ 近隣の開業医・介護施設・居宅介護事業所との連携及び支援を継続する。

(3) 研修に関すること

- ア 臨床研修協力施設
協力型臨床研修病院として研修医を受け入れる。
- イ 研修医・研修生受け入れ
研修医・医学生・看護学生及び地元中学・高校生に、地域における研修・実習の場を提供する。
- ウ 聖隷浜松病院整形外科専門研修
連携施設として協力。
- エ 浜松医科大学付属病院整形外科専門医研修プログラム
連携施設として研修医を受け入れ。

(4) 奨学金の貸与

看護師・薬剤師確保のため、看護学校等に在学する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。

(5) 病棟等運営計画

- ア 令和8年度4月より新たに地域包括医療病棟入院料を取得することで収益増加を見込む。入院患者数地域包括医療病棟37.3人包括33.2人とした。また、現在患者数の少ない内科の診療体制強化の為、県派遣の内科医師の増員を検討する。

- イ 令和7年度は、内科の発熱患者数の減少したこと、また、整形外科においては、近隣医療機関の整形外科が入院・手術を再開したことで患者数の減少により、200.6人に減少となった。令和8年度においては、整形外科医が3月に1名退職したことによる外来診療の縮小から患者数減少を見込み201.4人（うち訪問看護1.9人）とした。
- ウ 訪問看護、訪問リハについては、令和7年度よりも訪問件数増加を見込み、訪問看護1日件数11.2人、訪問リハ1日件数5.0人とした。

(6) その他特記事項

地域活動として地域住民を対象に健康教室や感染症対策勉強会等を開催し、知識の提供及び病院のPR等を行う。

48 関市国民健康保険津保川診療所（平成23年4月1日開設、関市から指定管理）

(1) 診療業務

外来 年間患者数 6,507人（一日平均 27人）

(2) 保健予防活動

ア 健康診断 年間件数 420人（一日平均 1.7人）

イ 予防接種 年間件数 750人（一日平均 3.1人）

ウ 特定健診 年間件数 370人（一日平均 1.5人）

(3) 介護事業収益

ア 訪問看護 年間利用者数 48人（一日平均 0.2人）

イ 居宅療養管理指導 年間利用者数 48人（一日平均 0.2人）

(4) へき地医療の支援に関係すること

地域医療の維持・確保を目的に医師確保に努める。

(5) 研修に関すること

ア 基幹型臨床研修病院より臨床研修協力施設として研修医の受入れを行う。

イ 中高生の職場体験、医学生のインターンシップの場を提供する。

ウ 関市の依頼のより、奨学生の研修受入れを行う。

(6) その他の特記事項

ア 在宅療養支援診療所として在宅医療の充実を図る。

イ 地域ケア会議等における地域包括ケアシステムの関係部署との連携強化を図る。

ウ 地域診療支援として1週間に1回、外来診療時間の延長を行う。

エ 関市との指定管理期間（令和8年4月1日から5年間）の更新を予定。

49 十勝いけだ地域医療センター（平成23年10月1日開設、池田町から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院 病床数 60床

年間患者数 一般病床（16床） 3,650人（一日平均 10.0人）

病床稼働率 62.5%

年間患者数 包括ケア病床（44床） 10,950人（一日平均 30.0人）

病床稼働率 68.2%

イ 外来 年間患者数 28,920人（一日平均 120.0人）

(2) 介護老人保健施設業務

ア 入所 定員 29人

年間入所者数 9,673人（一日平均 26.5人） ベッド利用率91.4%

イ 短期入所 年間入所者数 547人（一日平均 1.5人） ベッド利用率5.2%

ウ 通所リハビリテーション 定員 15人（月曜日から金曜日実施、年間稼働日数241日）

年間利用者数 1,928人（一日平均 8.0人）

(3) 介護保険

ア 訪問リハビリテーション

年間利用者数 434人（一日平均 1.8人）

イ 訪問看護ステーション

年間利用者数 7,230人（一日平均 30.0人）

ウ 居宅介護支援事業所

ケアプラン 年間作成件数 600件（一月平均 50件）

(4) 施設機器設備整備

ア 医療機器

心電計 (行政対応)

薬用冷蔵ショーケース (行政対応)

薬剤システム調剤台 一式 (行政対応)

薬剤在庫管理システム (行政対応)

透析室アームテレビ (行政対応)

人工呼吸器 (行政対応)

(5) へき地医療の支援に関すること

へき地診療所等との連携強化

(6) 地域包括ケアの取り組み

在宅療養支援病院として、多職種連携により地域包括ケアに取り組む。

(7) 研修に関すること

- ア 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）
協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医を受け入れる。
- イ 研修医・研修生受け入れ
医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。
看護、リハビリ、栄養、事務等の学生に実習の場を提供する。

(8) 奨学金の貸与

医療従事者確保の為の奨学金の貸与を行う。（看護師・薬剤師等）

50 女川町地域医療センター（平成23年10月1日開設、女川町から指定管理）

(1) 診療業務（外来稼働日数263日）

ア 入院	病床数	15床	
	年間患者数	4,380人	（一日平均12.0人）
	病床稼働率	80.0%	
イ 外来	年間患者数	24,233人	（一日平均92.1人）
ウ 往診	年間患者数	120人	（月平均10.0人）
エ 訪問診療	年間患者数	120人	（月平均10.0人）
オ 離島巡回診療	年間患者数	72人	（月平均6.0人）
カ 健康診断	年間利用者数	4,620人	（一日平均17.6人）
キ 訪問看護	年間利用者数	1,076人	（一日平均4.5人）
ク 訪問リハビリ	年間利用者数	2,390人	（一日平均10.0人）

(2) 老人保健施設業務

ア 入所	定員	80人	
	年間入所者数	28,105人	（一日平均77.0人）
	ベッド利用率	96.3%	
イ 通所リハビリ	定員	40人	
	年間通所者数	6,334人	（一日平均26.5人）
	稼働率	66.3%	
ウ 主治医意見書作成	年間作成件数	250件	

(3) 居宅介護支援業務

- ア ケアプラン 年間作成件数 900件（一月平均75件）
- イ 認定調査 年間調査件数 10件

(4) 病児・病後児保育事業 年間利用者数 180人（一月平均15人）

- (5) 施設機器設備整備
 - ア 医療機器・更新 (行政対応)
 - 血液ガス分析器、CT 装置
 - イ 設備 (行政対応)
 - 病棟系統の外調機
 - ウ 装置 (行政対応)
 - 直流電源装置、自家発電設備 蓄電池、通所リハビリ浴槽機械室 水処理装置
- (6) 研修に関すること
 - ア 臨床研修協力施設として研修医の受け入れ (ジュニア及びシニアレジデントの育成)
 - イ 医学生、看護学生、医療技術職学生等の研修及び実習の受け入れ
- (7) その他特記事項
 - ア 地域との連携による住民福祉の向上
 - イ 職場体験学習の受け入れ
 - ウ 産業保健、保健予防の取り組み
 - エ 定年延長を見据えた人員配置
 - オ 移設に向けた調査の開始

5.1 三重県立志摩病院 (平成24年4月1日開設、三重県から指定管理)

- (1) 診療業務
 - ア 入院 病床数 276床
 - 年間患者数 62,050人 (一日平均 170.0人)
 - 病床稼働率 61.6%
 - イ 外来 年間患者数 57,840人 (一日平均 240.0人)
- (2) 施設機器設備整備
 - ア 医療機器
 - ・画像管理システム (PACS/RIS) (リース)
 - ・調剤システム (リース)
- (3) へき地医療の支援に関すること
 - ア へき地医療拠点病院運営等
 - (ア) へき地診療所等との連携・支援
 - (イ) 医師の派遣
 - (ウ) 志摩市間崎島巡回診療
 - イ 三重県へき地医療支援機構の委託業務
 - 代診派遣調整

(4) 研修に関すること

- ア 基幹型臨床研修病院
 - ジュニアレジデント（1年次）3名
 - ジュニアレジデント（2年次）3名
- イ 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医の受け入れ
- ウ 専門研修連携施設
 - 専門研修連携施設としてシニアレジデントの受け入れ
- エ 研修医・研修生受け入れ
 - 医師・医学生等に対し地域における研修の場を提供
 - 看護、リハビリ、栄養、事務等の学生に実習の場を提供
- オ 薬剤師レジデントプログラム
 - 連携施設として薬剤師レジデントの受け入れ
- カ 職場体験、救急救命士等の地域における研修の場を提供
 - (ア) 中学生・高校生の職場体験
 - (イ) 救急救命士病院研修

(4) 奨学金の貸与

看護職員確保のため、奨学金対象者を准看護師まで拡大し、看護学校入学希望者又は在学生に対し奨学金を貸与する。

薬剤師確保のため、薬学部入学希望者又は在学生に対し奨学金を貸与する。

(5) その他特記事項等

- ア 内科系救急受入れ24時間365日の継続
- イ 地域医療の質の向上に向けた住民学習会、専門職対象研修会等の開催
- ウ 医師確保対策として三重大学からの医師派遣に向けた訪問活動の継続
- エ 看護師確保対策として院内保育所の受入、児童数の拡大、夜間保育の実施
- オ 入退院等に係るサービスを一元的に提供できる組織の継続
- カ 令和7年12月 電子処方箋発行に係る運用開始

5.2 練馬光が丘病院（平成24年4月1日開設、直営）

(1) 診療業務

ア 入院	病床数	457床
	年間患者数	149,796人（一日平均 410.4人）
	病床稼働率	89.8%
イ 外来	年間患者数	235,936人（一日平均 808.0人）
ウ 健康診断	年間利用者数	1,200人
エ 予防接種	年間利用者数	1,200人

- (2) 施設機器設備整備
- ア 医療機器
 - (ア) 内視鏡システム、内視鏡装置、一式 消化器内科
 - (イ) 麻酔器一式（システム接続費用含む） 麻酔科
 - (ウ) 超音波診断装置 2台 麻酔科、ICU
 - (エ) 外科用 X 線 TV 装置 放射線室
 - (オ) X 線骨密度測定装置 放射線室
 - (カ) 睡眠評価装置 臨床検査室
 - イ 事務機器
 - パーソナルコンピュータ
- (3) へき地医療の支援に関すること
- ア へき地等への医師派遣・代診を行う。
 - イ へき地等への看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師等の派遣を行う。
- (4) 研修に関すること
- ア 基幹型・協力型臨床研修指定病院
 - 初期研修医 15名
 - イ 専攻医研修プログラム
 - 専攻医 19名
 - (内訳：総合診療科救急部門2名、内科7名、循環器内科2名、外科2名、整形外科2名、産婦人科2名、泌尿器科1名、眼科1名)
 - ウ その他
 - 看護学生、薬学生、臨床工学技士等、医療専門職の学生実習を受け入れる。
- (5) 奨学金の貸与
- 看護師確保のため、看護学校入学予定者及び看護学生の奨学生を募り、奨学金を支給する。
- (6) その他特記事項
- ア 看護師等医療スタッフの安定確保（離職防止）と適正な人員配置
 - イ 地域医療連携の強化と PFM の推進
 - ウ がんに対する医療の充実、放射線治療の活用
 - エ ICU、回復期リハビリテーション病棟の充実
 - オ 保守料、業務委託契約の見直しと省エネ対策
 - カ DPC 病院としての診療の効率化（クリパス使用率向上）
 - キ 電子カルテ更新準備、DX 導入推進による業務効率化
 - ク 働き方改革への対応（土曜日診療、インターバル、宿日直など）

5.3 越前町国民健康保険織田病院（平成24年4月1日開設、越前町から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院 病床数 55床

年間患者数 17,812人（一日平均 48.8人）

病床稼働率 88%

イ 外来 年間患者数 51,800人（一日平均 177.4人）

ウ 介護保険

(ア) 訪問看護 年間利用者数 7,526人（一日平均 25.8人）

(イ) 訪問リハビリテーション 年間利用者数 959人（一日平均 3.3人）

(ウ) 看護小規模多機能 登録者数21人

(2) 在宅介護支援センター・居宅介護支援業務

ケアプラン 年間作成件数 1,020件（月平均85件）

(3) 病児病後児補域業務

ア 病児保育 年間利用者数 50人

イ 病後児保育 年間利用者数 50人

(4) サービス付き高齢者向け住宅 入居者20人

(5) 施設機器設備整備

ア 医療機器 白内障硝子体手術装置 (行政対応)

麻酔記録システム (行政対応)

疼痛管理用高周波システム (行政対応)

血液ガス分析装置 (行政対応)

生物顕微鏡 (行政対応)

MR I アップグレード (行政対応)

手術室自動ドア (行政対応)

ホットワゴン (購入)

イ 施設設備 食器消毒保管庫 (購入)

(6) へき地医療の支援に関すること

ア へき地診療所等との連携・支援

イ 医師の派遣及び医療技術員の支援

(7) 研修に関すること

ア 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）

福井大学附属病院、福井県立病院、福井赤十字病院より研修医を受け入れる。

イ 研修医・研修生の受け入れ

医師・医学生等に地域における研修の場を提供する。

(8) 奨学金の貸与

看護師確保のため、大学、短期大学及び専門学校にて就学を希望する者に対して奨学金の貸与を行う。

(8) その他特記事項等

ア 放課後等デイサービス事業の健全な経営を図る

放課後等デイサービスの利用者増

イ 在宅医療の充実を図る

訪問リハビリテーションの充実

看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者増

ウ 電子カルテシステムの安定運用とデータの有効活用

エ サービス付き高齢者向け住宅事業の健全な経営を図る

54 公立久米島病院（平成24年4月1日沖縄離島医療組合から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院

病床数 40床

年間患者数 9,527人（一日平均 26.1人）

病床稼働率 65.2%

イ 外来

年間患者数 42,108人（一日平均 174.0人）

ウ 介護保険

(ア) 訪問看護

年間利用者数 726人（一日平均 3.0人）

(イ) 訪問リハビリ

年間利用者数 605人（一日平均 2.5人）

(2) 施設機器設備整備計画（行政対応）

ア 医療機器

・デジタルX線透視撮影装置

（行政対応）

・骨密度測定装置

（行政対応）

・除細動器

（行政対応）

イ 事務機器

パソコン・ファイルサーバー

（行政対応）

ウ 施設設備

衛星通信アンテナ設置

（行政対応）

(3) へき地医療の支援に関すること

沖縄県内離島診療所への看護師支援を行う。

- (4) 研修に関すること
 - ア 研修医、研究生、実習生の積極的な受入れ。
 - イ 医師、医学生、看護学生、コメディカル等に、地域における研修の場を提供する。
 - ウ 沖縄県立看護大学大学院の島嶼看護講座開設。
ビデオ会議システムを利用し、働きながら大学院で勉強できる環境を提供する。
 - エ 薬剤師のリカレント研修の受入れ。
 - オ NP の離島研修先としての受入れを検討。
- (5) 奨学金の貸与

久米島町、久米島高等学校と連携を取り、町に奨学金制度、さいたま看護学校の推薦入試（地域枠の利用）を積極的に薦める。
- (6) その他特記事項
 - ア 安定的な運営を図るため病院職員の確保を図るとともに久米島町に定着する医療スタッフの確保に努める。
 - イ リハビリ事業の充実に努める。
 - ウ 久米島町及び、離島医療組合等の行政機関との連携を強化する。
 - エ 沖縄地域医療センターとの業務連携強化する。
 - オ 久米島町と共同して、島民の「健康プロジェクト」を推進する。
 - カ 子供検診や予防接種等、町からの委託事業に積極的に取り組む。
 - キ 小学校・中学校・高等学校生の職場体験への参加を推進し、将来の久米島での医療従事者の育成につなげる。

5.5 嬭恋村国民健康保険診療所（平成24年4月1日開設、嬭恋村から指定管理）

- (1) 診療所業務

ア 外来	年間患者数	8,900人	（一日平均 35.5人）
イ 健康診断	年間利用者	310人	
- (2) 研修医・研修生の受け入れ

医師・医学生・看護学生に、地域における研修の場を提供する。
- (3) 施設機器設備整備

医療機器 令和8年度の医療体制の充実に図る中で必要な機器の購入
電子カルテの更新
- (4) その他特記事項

嬭恋村における保健、福祉、医療施設との連携、支援

5.6 伊豆下田診療所（平成24年5月1日開設 直営）

（1）診療業務

外 来 年間患者数 6, 254人（一日平均 23.6人）
訪問診療 年間患者数 108人（一日平均 0.4人）

（2）その他特記事項等

- ア 伊豆今井浜病院との連携
- イ 近隣の介護施設との連携、支援
- ウ 訪問診療を増やし、可能な限り在宅医療を行う
- エ 船員健診、企業健診等健康診断件数増加による増患
- オ 帯状疱疹、インフルエンザ等予防接種件数増加による増患

5.7 真鶴町国民健康保険診療所（平成25年8月1日開設、真鶴町から指定管理）

（1）診療業務

ア 外 来 年間患者数 11, 931人（一日平均41.0人）
イ 介護保険
居宅療養管理指導 年間利用者数 669人（一日平均 2.3人）
看護小規模多機能型居宅介護 年間利用者数 6, 059人（一日平均16.6人）
訪問看護ステーション 年間利用者数 3, 402人（一日平均 14.0人）

（2）研修に関すること

- ア 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医を受け入れる。
- イ 研修生受け入れ
医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。

（3）その他特記事項

- ア 在宅医療・看多機におけるターミナルケアの充実
- イ 住民健康診断等の保健事業の充実
- ウ 近隣医療機関、介護施設との連携強化、地域包括ケアネットワークの構築
（ア）神奈川県西部地区のケアマネ連絡会やリハビリ連絡会との連携強化
（イ）在宅医療の受け入れ先として、近隣二次医療機関の連携室との連携構築
- エ 地域への情報発信
地域の介護者、高齢者に対して健康や、地域医療についての情報発信を行う。
- オ 看護師・看護小規模多機能型居宅介護関連職種の人材確保を進める。

58 今泉記念館ゆきあかり診療所（平成25年10月1日開設、直営）

(1) 診療業務

ア 外 来	年間延患者数	10,000人（一日平均 36.5人）
イ 健康診断	年間利用者数	115人
ウ 予防接種	年間利用者数	2,600人
エ 往診・訪問診療	年間延患者数	360人

(2) へき地医療の支援に関すること

湯沢町保健医療センターとの医師連携

(3) 研修に関すること

ア 湯沢町保健医療センターで受け入れている研修医、医学生、看護学生に、診療所を研修・実習の場として提供。

イ 本部地域医療研究所の依頼により、医学生の実習受け入れを行っている。

(4) その他特記事項等

ア 在宅療養支援診療所として在宅医療の充実・強化

イ 保健予防活動の強化（健康診断・各種予防接種等）

ウ 地域住民・学校への啓発活動を通じた地域保健活動（講和会・グループワーク等の参加）

エ 南魚沼郡市介護認定審査会・介護保険事業計画検討委員会への参加

オ 南魚沼市乳幼児健診、就学時健診への協力

カ 学校医・保育園嘱託医契約

キ 地域企業への出張インフルエンザ予防接種

ク 近隣医療機関、訪問看護ステーションとの連携

ケ 特別養護老人ホーム、障害者支援施設との嘱託医契約

59 六ヶ所村医療センター（六ヶ所村地域家庭医療センター及び六ヶ所村介護老人保健施設ニッコウキスゲ）（平成26年4月1日開設、六ヶ所村から指定管理）

(1) 診療業務（外来稼働日数 242日）

ア 入 院	病床数	19床
	年間患者数	4,563人（一日平均 12.5人）
	病床稼働率	65.8%
イ 外 来	年間患者数	27,956人（一日平均 116.0人）
ウ 訪問診療	年間件数	240件（月平均 20.0件）
エ 健康診断	年間利用者数	3,205人（一日平均 13.3人）
オ 意見書作成	年間作成件数	288件（月平均 24件）
カ 訪問看護	年間利用者数	1,080人（月平均 90人）

- (2) 歯科診療業務 (稼働日数 242日)
- 外 来 年間患者数 3,013人 (一日平均 12.5人)
- (3) 介護老人保健施設業務
- 定 員 29人 (短期入所5人を含む。)
- ア 入 所 年間入所者数 9,673人 (一日平均 26.5人)
- イ 短 期 年間入所者数 548人 (一日平均 1.5人)
- ベット利用率 96.6% (一般入所・短期入所合算)
- ウ 通所リハビリテーション (定員25人)
- 年間利用者数 4,483人 (一日平均 18.6人)
- 稼働率 74.4%
- (4) 施設機器設備整備
- ア 医療機器 MRI装置他 (更新) (行政対応)
- イ 事務機器 複合機他 (更新) (行政対応)
- ウ その他 温冷配膳車他 (更新) (行政対応)
- (5) 研修に関すること
- ア 臨床研修協力施設として協会内、協会外、海外の研修医受け入れ
- イ 医学生、看護学生、医療技術職学生、中高校生等の研修及び実習の受け入れ
- (6) その他特記事項
- ア 災害救助時にも使用可能なヘリポートを有し、青森県ドクターヘリ救急搬送を利用している
- イ 特定健診の取り組みを行う
- ウ 低線量肺がんCT検診の実施
- エ 眼科診療外来 (診療月1回以上) 及び白内障、眼瞼下垂症手術の継続
- オ 発熱外来の継続
- カ 在宅医療の充実 / 在宅利用者に対する訪問看護 (医療、介護)・リハビリ・栄養指導等の充実を図る
- キ 検診・学校医等の協力 / 地域保健活動に関する協力を継続する
- ク 地域との連携活動の推進による住民福祉の向上を図る
- ケ 東通地域医療センターとの連携及び支援を行う
- コ 病後児保育 (六ヶ所村事業) への看護職員派遣

60 戸田診療所 (平成26年4月1日開設、沼津市から指定管理)

- (1) 診療業務
- 外 来 年間患者数 16,936人 (一日平均 58.4人)

(2) 保健予防活動

ア 健康診断・がん検診	年間利用者数	1, 022人
イ 予防接種	年間利用者数	1, 616人
ウ 特定健診	年間利用者数	348人

(3) その他特記事項

- ア 巡回診療の充実 (月2回)
- イ 近隣医療機関との連携
- ウ 近隣施設と嘱託医契約を締結

6.1 西浅井地区診療所 (平成27年4月1日開設、長浜市から指定管理)

(1) 診療業務

ア 外来	年間患者数	13, 500人 (一日平均 53人)
イ 介護保険		
(ア) 訪問看護	年間利用者数	300人 (一日平均 1.7人)
(イ) 居宅療養管理指導	年間利用者数	720人 (一日平均 3.5人)
(ウ) 訪問リハビリ	年間利用者数	680人 (一日平均 3.3人)

(2) へき地医療の支援に関すること

へき地医療出張診療所

- ・塩津出張診療所 (週2回)
- ・菅浦出張診療所 (月2回)

(3) 研修に関すること

研修生の受け入れ

- ・医学生、初期臨床研修医等に対して地域における研修の場を提供
- ・地域医療研修

(4) その他特記事項

- ア 在宅医療の充実を図る
在宅利用者に対する診療、看護、リハビリなどの充実
- イ 健康教室 (出向き型) や体操教室 (施設利用型) の実施
- ウ 中学生の職場体験受け入れ
- エ 診療所通信やホームページを活用した情報発信
- オ 多職種連携研修会を定期的開催
- カ 乳幼児健診及び地域の学校医としての保健指導の実施
- キ 地域の行事 (マラソン大会や各種イベント) での医療救護支援
- ク 地域医療総合診療プログラムの実施

6.2 揖斐川町谷汲中央診療所（平成27年4月1日開設、揖斐川町から指定管理）

(1) 診療業務

ア 外 来	年間患者数	5, 545人（一日平均 23.3人）
イ 介護保険 訪問看護	年間利用者数	年間延べ23.8人（一月平均1.98人）
居宅療養管理指導	年間利用者数	524人（一日平均 2.2人）

(2) 保健予防活動

ア 健康診断	年間受診者数	143件
イ 予防接種	年間接種者数	427件
ウ その他	近隣小中学校、事業所の健康管理等の委託	

(3) へき地医療の支援に関すること

- ア 揖斐郡の北西部4地域における保健・福祉・医療の連携・支援及び周辺地域の代診の要望に対応する。
- イ 町と連携し、谷汲地区における保健・福祉・医療施策等の支援・調整を行う。

(4) 研修医・研修生受け入れ

医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。

(5) 保健指導

町と連携し住民の保健指導を行う。

(6) その他特記事項等

- ア 機能強化在宅支援診療所として、24時間体制にて診療を行う。
- イ 訪問診療・在宅医療・ターミナルケア等（認知症高齢者グループホーム等を含む。）の充実を図る。
- ウ 障害者施設の緊急時における対応
- エ 引き続き近隣協会施設である春日診療所、久瀬診療所、いびがわ診療所と連携を図り効率的な地域医療に邁進するため揖斐川町と山間部の診療所の在り方について協議中である。
- オ 地域住民とのサロン（交流会）への参加
- カ 管理者がいびがわ診療所での内視鏡検査を実施

6.3 米原市地域包括医療福祉センター（平成27年10月1日開設、米原市から指定管理）

(1) 診療業務

ア 外 来	年間患者数	25, 872人（1日平均 98.0人）
イ 往診・訪問診療	年間患者数	5, 544人（1日平均 21.0人）
ウ 居宅療養管理指導	年間利用者数	3, 168人（1日平均 12.0人）
エ 訪問リハビリ	年間利用者数	3, 012人（1日平均 12.5人）
オ 通所リハビリ	年間利用者数	2, 522人（1日平均 13.0人）

(2) 児童のための社会福祉事業

ア 児童発達支援センター業務

(ア) 児童発達支援業務 定員20名

年間利用者数 2,892人(1日平均 12.1人)

(イ) 放課後等デイサービス 定員20名

年間利用者数 5,808人(1日平均 22.0人)

(ウ) 保育所等訪問事業 650件

(エ) 障害児相談支援事業 プラン作成対象者 120人

イ 病児・病後児保育業務 定員6名

年間利用者数 350人(1日平均 1.4人)

(3) 地域包括支援センター業務

米原近江地域包括支援センターと山東伊吹地域包括支援センターの運営を行う。

ア 各種相談 相談件数 1,800件/年

イ ケアプラン 作成件数 3,500件/年

ウ 権利擁護事業 年間 40ケース

エ 地域ケア個別会議等

(4) 研修に関すること

ア 臨床研修協力施設として研修医を受け入れる。

イ 医師、医学生・看護学生・医療技術職学生等に地域研修の場を提供する。

(5) その他特記事項

ア 在宅支援の充実

(ア) 在宅利用者に対する診療、訪問リハビリの充実を図る。

(イ) 在宅療養支援診療所として在宅支援を行う。

イ 他職種連携研修会を定期的に実施する。

ウ 乳幼児健診及び学校医、幼稚園医、保育園医として保健指導を行う。

6.4 介護老人保健施設市川ゆうゆう(平成28年4月1日開設 市川市から経営委譲)

(1) 介護老人保健施設業務

ア 入所 定員150人(短期入所含む)

年間入所者数 48,180人(一日平均 130.0人) ベッド利用率86.7%

イ 通所リハビリ 定員20人

年間利用者数 4,900人(一日平均 20.0人)稼働率100.0%

- (2) 研修に関すること
 - ア 介護福祉士学生、看護学生、リハビリ学生、特別支援学校生徒等に対し地域における研修の場を継続して提供する
 - イ 職員の外部研修及び学会への積極的参加
 - ウ 介護無資格者に対する研修、教育体制の構築
- (3) その他特記事項等
 - ア 在宅復帰・在宅療養支援の強化
 - イ リスク・感染対策の強化
 - ウ リハビリテーション機能の充実
 - エ チーム意識の醸成
 - オ 講演会開催、施設内行事などを通じた地域への情報発信・地域連携の推進
 - カ 介護報酬上位加算の維持
 - キ 外国人、障害者、高齢者など多様な雇用の促進
 - ク 介護職の高校生を含む積極的な新卒者採用の継続、リハビリ職及び看護職の新卒者採用推進
 - ケ 各種マニュアルの整備・見直し
 - コ 業務の統一化・効率化の推進
 - サ 地域とのかかわりの更なる強化
 - シ 通所型短期集中予防サービス事業の継続実施

6 5 鳥羽市立長岡診療所 (平成28年4月1日開設 鳥羽市から指定管理)

- (1) 診療業務
 - ア 外 来 年間患者数 3,567人 (一日平均 14.8人)
 - イ 介護保険
 - (ア) 訪問看護 年間利用者数 169人 (一日平均 0.7人)
 - (イ) 訪問リハビリテーション 年間利用者数 578人 (一日平均 2.4人)
- (2) 研修に関すること
 - ア 研修医・研修生受け入れ
医師・医学生に地域における研修の場を提供する。
 - イ 実地見学・研修の場の提供
地域の希望施設からの実地見学・研修の場を提供する。
- (3) へき地医療の支援に関すること
 - へき地等への医師派遣・代診を行う。

(4) その他特記事項等

- ア 近隣無医地区への診療支援開始
- イ 学校保健、近隣介護施設等への協力
- ウ 三重県立志摩病院との連携強化
- エ 伊勢志摩地域医療支援センターとの事務業務連携

6.6 竹富町立黒島診療所（平成28年4月1日開設 竹富町から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 外来 年間患者数 1,464人（一日平均 6.1人）
- イ 予防接種 年間患者数 86人

(2) 施設機器設備整備

薬用冷凍冷蔵庫（へき地診療所等施設整備補助事業）

(3) 研修に関すること

研修医・研修生受け入れ

沖縄地域医療支援センターと連携し、医師・医学生等に、地域における研修の場を提供

(4) その他特記事項等

- ア 在宅医療の充実
- イ 地域住民への啓発活動を通じた地域保健活動
- ウ 地域保健活動への協力（健康診断・予防接種等）
- エ 竹富町役場と連携し二次健診事業への協力
- オ 保育所、学校保健への協力
- カ 専門医派遣巡回診療支援事業の充実
- キ 沖縄本島、石垣島内の医療機関・介護施設等との連携強化
- ク 沖縄地域医療支援センターとの事務業務連携
- ケ 電子カルテ運用開始（BCP対策として黒島・竹富の相互参照可能とする）

6.7 奈良市立興東診療所（平成28年6月1日開設、奈良市から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 外来 年間患者数 436人（一日平均 4.8人）

(2) へき地医療の支援に関すること

へき地等への医師派遣・代診を行う。

- (3) 研修に関すること
 - ア 協力型臨床研修施設
協力型臨床研修施設として研修医を受け入れる。
 - イ 研修医・研修生受け入れ
医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。
- (4) その他特記事項
在宅医療の充実を図る。

68 日光市立小来川診療所（平成29年4月1日開設 日光市から指定管理）

- (1) 診療業務
 - 外 来 年間患者数 718人（一日平均 7.8人）
- (2) 施設機器設備整備
レントゲン、心電図、超音波診断装置（行政対応）
- (3) 日光市民病院との連携
 - ア 職員（看護師等）相互派遣
 - イ 医療の連携
- (4) その他特記事項
令和7年4月より指定管理更新（3年間）

69 恵那市国民健康保険山岡診療所（平成29年4月1日開設 恵那市から指定管理）

- (1) 診療業務
 - ア 外 来 年間患者数 6,439人（一日平均 26.5人 診療日数 243日）
 - イ 在宅医療 市立恵那病院をはじめとする関係諸機関と連携の上、往診・訪問診療等の在宅医療の強化を図る。
 - ウ 公衆衛生 各種予防接種及び健診事業を推進する。
 - (ア) 特定健診等 年間受信者 430件
 - (イ) 予防接種 年間接種者 900件
 - (ウ) その他 近隣幼稚園、小中学校、事業所の健康管理医、産業医の受託
- (2) 施設機器設備整備
 - ア 電子カルテシステム（行政対応）
 - イ 婦人科外来開設関係（行政対応）超音波診断装置・内診台・診療ユニット
- (3) 研修に関すること
研修医の受け入れ
市立恵那病院、東農厚生病院、保健所等の研修医の地域医療の研修の場として積極的に受け入れる。

(4) その他特記事項等

- ア 医療連携会議等で地域包括ケアシステムの関係部署との連携を強化し、地域医療に貢献するとともに外来患者の増加を図る。(近隣の町村にも訪問診療を拡大していく)
- イ 地域医療支援として実施している週1回外来診療時間の延長を継続する。
- ウ 医療DXの活用など医療の多様性に対応していく。
現在行っている公民館のオンライン診療を拡大していく。
- エ 生活習慣病指導管理料、外来栄養指導料などの指導強化など医療の質の向上及び行政との連携を図る。
- オ 訪問診療・訪問看護等のさらなる充実を図る。在宅療養支援診療所の取得を検討していく。
- カ 同協会施設運営の市立恵那病院と連携を図り婦人科外来を開設する。
- キ 健康診断の受診率向上(随時検査の導入など)に取り組む。
- ク 地域の学校等で医療従事者による講習などの保健予防活動を実施していく。
- ケ 外来予約制度を浸透させ時間の効率化を図る。効率化した時間で訪問診療の拡大、協会内施設への看護師支援を行っていく。
- コ 市内国保診療所でも電子カルテ導入を検討しており、当診療所の電子カルテ更新の時期が重なったことから行政と協働して導入を計画していく。また電子カルテの性能のみではなく、費用削減として保守料金の安価なメーカーも検討していく。

70 恵那市介護老人保健施設ひまわり(平成30年4月1日開設 恵那市から指定管理)

(1) 老人保健施設業務

- ア 入所 定員99人(入所・短期入所合計)
年間入所者数 31,025人(一日平均 85.0人) ベッド利用率85.9%
- イ 通所リハビリ 定員15人
年間入所者数 3,168.0人(一日平均 13.2人) 稼働率88.0%

(2) 施設機器設備整備

- ア 医療機器 ベッド等更新(行政対応)
- イ 施設設備 トイレ排水管修理(行政へ要望)

(3) その他特記事項等

- ア 高校生インターンシップ・福祉体験等の受け入れ継続
- イ 障害者雇用の促進
特別支援学校からの施設見学、インターンシップの受け入れ

7 1 介護老人保健施設富谷の郷（平成30年6月1日開設 直営）

(1) 介護老人保健施設業務

- ア 入所 定員 100人（入所・短期入所合計）
年間入所者数 34,310人（一日平均 94.0人） ベッド利用率94%
- イ 通所リハビリ 定員25人
年間入所者数 3,133人（一日平均 13.0人） 稼働率52%

(2) その他の特記事項

- ア 幅広い利用者の受け入れ、安定したベッド稼働、在宅生活が続けられる支援。
- イ 身体機能の強化と共に活動と参加を念頭に生活能力向上を図り、環境整備等にも注力したリハビリテーションを確立する。また、利用者一人ひとりに対応した目標管理を行う。
- ウ 地域との連携活動の推進による住民福祉の向上を図る。
- エ 地域イベントへの参加などによる地域に開かれた施設作り。
- オ 積極的なボランティア、実習生及び体験実習の受け入れ。
- カ 近隣市町村の医療機関や施設、居宅介護支援事業所との連携強化。
- キ 地域コミュニケーションの場として施設の積極活用。

7 2 あま市民病院（平成31年4月1日開設 あま市から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 入院 病床数 180床
- | | | |
|----|-------|----------------------|
| 内科 | 年間患者数 | 55,480人（一日平均 152.0人） |
| 歯科 | 年間患者数 | 1,095人（一日平均 3.0人） |
| | 病床稼働率 | 86.1% |
- イ 外来 内科 年間患者数 55,430人（一日平均 230.0人）
歯科 年間患者数 4,820人（一日平均 20.0人）
- ウ 介護保険
訪問看護 年間利用者数 588人（一日平均 2.4人）
- エ 健診 年間利用者数 2,472人（一日平均 10.3人）

(2) 研修に関すること

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、名古屋市立大学病院、済生会宇都宮病院からの研修医受け入れを行う。

(3) 奨学金の貸与

看護師確保のため、看護学校入学を希望する者に対し入学後の奨学金の貸与を行う。

(4) その他特記事項

- ア 内科歯科連携として、歯科医師会との診療連携を深める。
- イ 薬業連携として、薬剤師会・調剤薬局との勉強会を開催。

- ウ 自治体等関係機関との共同企画に参加。
- エ ヘルスプロモーションの取り組みとして、市民・関係機関との研修会を企画。
- オ 救急医療の取り組みとして、消防隊との調整会議開催。
- カ 災害医療対策として、広域防災への訓練参加、BCP・防水対策への取り組み。
- キ 訪問診療、訪問看護、訪問リハ、マンモグラフィ、エコー検査の件数増加を目指す。
- ク 協会けんぽ受託施設として、協会けんぽ加入者の健診件数増加を目指す。
- ケ 地域包括ケア病棟 1、回復期リハビリ病棟 1 の維持、病棟薬剤業務実施加算の維持、入院一般基本料 2 を維持する。
- コ DPC 算定病院として、適正な病床管理を継続する。
- サ 循環器内科オンコール体制の継続により、救急患者受け入れ増加に努める。
- シ 連帯保証人代行制度の導入により、未収金の減少を図る。

7 3 古里診療所（令和元年 9 月 1 日開設 奥多摩町から指定管理）

（1）診療業務

外 来 年間患者数 4, 3 0 0 人（一日平均 2 0 . 0 人）

（2）施設機器設備整備

患者送迎車の入れ替え（行政対応）

（3）その他特記事項等

ア 保健予防事業として特定健診・予防接種等を行う

イ 外来栄養指導を行う

7 4 君津市国保小櫃診療所（令和 2 年 4 月 1 日開設 君津市から指定管理）

（1）診療業務

外 来 年間患者数 4, 6 9 6 人（一日平均 1 9 . 9 人）

訪問診療 年間件数 4 9 1 件

（2）その他特記事項

ア 保健予防事業として特定健診・高齢者健康診査・予防接種等を行う

イ 訪問診療の充実を図る

ウ 外来栄養指導を行う

75 おきたまフラワークリニック（令和2年7月1日開設、直営）

（1）診療業務

ア 外 来 年間患者数 8,260人（一日平均 29.5人）
稼働日数 280日

（2）保健予防活動

ア 健康診断 年間受診者数 30件
イ 予防接種 年間接種者数 600件
ウ その他 近隣小学校の健康管理等の委託

（3）研修医・研修生受け入れ

医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する

（4）その他特記事項等

ア 近隣医療機関等との連携強化
イ 在宅医療の充実を図る
ウ CTを用いた簡易人間ドック（プチ人間ドック）※磐梯にて実施中の検討
エ 次世代のスタッフ育成

76 竹富町立竹富診療所（令和3年4月1日開設 竹富町から指定管理）

（1）診療業務

ア 外 来 年間患者数 1,680人（一日平均 7.0人）
イ 予防接種 年間患者数 140人

（2）研修に関すること

研修医・研修生受け入れ
沖縄地域医療支援センターと連携し、医師・医学生等に地域における研修の場を提供

（3）その他特記事項等

ア 在宅医療の充実
イ 地域住民への啓発活動を通じた地域保健活動
ウ 地域保健活動への協力（健康診断・予防接種等）
エ 竹富町役場と連携し二次健診事業への協力
オ 保育所、学校保健への協力
カ 沖縄本島、石垣島内の医療機関・介護施設等との連携強化
キ 沖縄地域医療支援センターとの事務業務連携
ク 電子カルテ運用開始（BCP対策として黒島・竹富の相互参照可能とする）

77 とくち地域医療センター（令和3年5月1日開設 直営 令和4年11月山口市から指定管理）

（1）診療業務

ア 外 来 年間患者数 13,600人（一日平均 46.8人）

稼働日数 292日

イ 介護保険

（ア）訪問看護 年間利用者数 120人（一日平均 1.3人）

（イ）訪問リハビリテーション 年間利用者数 60人（一日平均 1.4人）

（2）保健予防活動

ア 健康診断・特定健診・がん検診 年間受診者数 300件

イ 予防接種 年間接種者数 1,380件

ウ 近隣施設の健康管理等の受託

特別養護老人ホームの嘱託医を令和8年から受託

（3）その他特記事項等

ア 山口市徳地診療所、山口市串診療所の指定管理

第2期（令和7年度から3年間）の2年目

イ 巡回診療車を使用した無医地区への巡回診療（令和7年度から指定管理事業）

医療MaaSの効果的な運用（月2回、第2・第4水曜日）

近隣自治体への巡回診療車の貸出し

ウ プライマリケアの充実

エ 徳地地域におけるへき地診療所及びかかりつけ医の役割の遂行

オ 在宅サービス（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ）の充実を図る

カ 地域医療懇話会への参加など地域に密着した連携及び支援

キ 医療、看護、メディカルスタッフ研修の積極的な受入れ

ク 内視鏡撮影装置及び電子カルテシステムの更新を予定

78 豊頃町立豊頃医院（令和3年11月1日開院、豊頃町から指定管理）

（1）診療業務

ア 外 来

豊頃医院 年間患者数 4,097人（一日平均 17.0人）

大津診療所 年間患者数 375人（一日平均 7.5人）

※大津診療所へは、週1日診療

（2）研修医・医学生受け入れ

医師、医学生等に、地域における研修の場を提供する

- (3) その他特記事項等
 - ア 在宅医療・ターミナルケアの充実を図る。
 - イ 地域ケアマネージャー等との連携を図る。
- (4) へき地医療の支援に関すること
 - 十勝いけだ地域医療センターとの連携（医師・検査の支援）

79 介護老人保健施設あやがわ（令和4年4月1日開設 綾川町から指定管理）

(1) 介護老人保健施設業務

- ア 入所 定員 60人（入所・短期入所合計）
年間入所者数 20,586人（一日平均 56.4人）
ベッド利用率 94%
- イ 通所リハビリ 定員25人
年間通所者数 5,526人（307日）
（一日平均18.0人）
稼働率 72.0%

(2) その他の特記事項

- ア 幅広い利用者の受け入れ、安定したベッド稼働、在宅生活が続けられる支援。
- イ 身体機能の強化と共に活動と参加を念頭に生活能力向上を図り、環境整備等にも注力したり
リハビリテーションを確立する。また、利用者一人ひとりに対応した目標管理を行う。
- ウ 地域との連携活動の推進による住民福祉の向上を図る。
- エ 地域イベントへの参加などによる地域に開かれた施設作り。
- オ 近隣市町村の医療機関や施設、居宅介護支援事業所との連携強化。
- カ 高校生インターンシップ・福祉体験等の受け入れ。

80 志摩市立浜島診療所（令和4年4月1日開設 志摩市から指定管理）

(1) 診療業務

- ア 外来 年間患者数 6,507人（一日平均 27.0人）
- イ 介護保険
 - (ア) 訪問看護 年間利用者数 48人（一日平均 0.2人）
 - (イ) 訪問リハビリテーション 年間利用者数 831人（一日平均 3.5人）

(2) 保健予防活動

- ア 健康診断 年間受診者数 208件
- イ 予防接種 年間接種者数 181件

(3) その他特記事項等

ア 三重県立志摩病院との連携強化

イ 伊勢志摩地域医療支援センターとの事務業務連携

8.1 有田市立病院（令和5年4月1日開設 有田市から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院 [～令和9年2月28日] 病床数 141床

[令和9年3月1日～] 病床数 120床

年間患者数 27,776人（一日平均 76.1人）

病床稼働率 54.0%

イ 外来 年間患者数 52,800人（一日平均 220.0人）

ウ 介護保険

訪問看護 年間利用者数 12,000人（一日平均 50.0人）

(2) 施設機器設備整備

ア 医療機器（協定に基づく行政対応 ※下記(5)）

MR I

放射線画像診断機器一式（一般撮影装置・X-TV撮影装置、他）

中央材料機器一式（高圧蒸気滅菌機・プラズマ滅菌機、他）

臨床検査機器一式（生化学自動分析装置・免疫測定装置・血液ガス分析装置、他）

特殊診療機器一式（耳鼻科診療ユニット、尿流量測定装置、他）

天井懸垂式医療機器（无影灯、シーリングペンダント、他）

汚物処理装置一式（ベッドパンウォッシャー、マセレーター）

リハビリ機器一式（運動負荷モニタリングシステム、他）

採血管準備システム一式（採血管準備装置、ハルンカップラペラ、他）

超音波画像診断装置一式

調剤機器一式（錠剤分包機、注射薬払出装置一式、他）

眼科機器一式（眼底カメラ、視力検査装置、他）

生体情報システム関連一式（生体情報モニタ、AED、心電計、他）

イ 什器備品類（購入 ※下記(5)）

待合椅子、ナーカースト、ナースピット

(3) 研修に関すること

研修生の受け入れ

薬剤師・理学療法士・作業療法士・看護師等（学生）における研修の場を提供

(4) 奨学金の貸与

- ア 薬剤師・看護師確保のため、薬学部・看護学校入学者に対し入学後の奨学金の貸与を行う
- イ 新卒薬剤師の大学在籍期間中の公的貸与型奨学金を受けた方への奨学金返還一部補助

(5) 新病院建設に関すること

- ア 令和9年3月1日開院予定（令和8年11月竣工）
- イ 新病院開院にあわせ、回復期リハビリテーション病棟開設予定
- ウ 有田市との基本協定において、病院事業債の元利償還金から国の交付税額を控除した2分の1を負担することとなっている。新病院建設費用および機器更新費用について、建設負担金の見直しや政策的医療交付金の増額、赤字補填などに関する積極的な協議を行う。

[新病院建設工事費用] 8, 137, 300千円 ※交付税額を控除した額の2分の1負担

[医療機器購入費用] 1, 803, 900千円 ※ "

[病院事業債対象外什器等] 130, 000千円 ※事業債対象外かつ100万円未満は協会負担

(6) その他特記事項等

- ア 災害拠点病院の維持
- イ 救急医療の充実を図る
- ウ 在宅医療の充実を図る
- エ 地域との連携活動の推進による住民福祉の向上を図る
- オ 各種サービス（医療・介護）の現状や住民のニーズを把握し、それに伴った規模の再考、人員配置含め適切な経営を遂行する
- カ 居宅介護支援事業所の開設
- キ 病児・病後児保育事業 定員3名

82 いびがわ診療所（令和5年11月1日開設 揖斐川町から指定管理）

(1) 診療業務

ア 外来	年間患者数	16, 870人（1日平均 70.0人）
イ 介護保険		
訪問看護	年間利用者数	年間延べ58人（1日平均 0.2人）
訪問リハビリ	年間利用者数	年間延べ121人（1日平均 0.7人）
居宅療養管理指導	年間利用者数	年間延べ2, 362人（1日平均 9.8人）

(2) 保健予防活動

ア 健康診断	年間受診者数	487件
イ 予防接種	年间接種者数	1, 890件
ウ その他	近隣小中学校、事業所の健康管理等の委託	

- (3) へき地医療の支援に関すること
 - ア 揖斐郡の北西部4地域における保健・福祉・医療の連携・支援及び周辺地域の代診の要望に対応する。
 - イ 町と連携し、揖斐川町における保健・福祉・医療施策等の支援・調整を行う。
- (4) 研修医・研修生受け入れ
 - 医師・医学生等に、地域における研修の場を提供する。
- (5) 保健指導
 - 町と連携し住民の保健指導を行う。
- (6) その他特記事項等
 - ア 揖斐厚生病院の引継ぎ患者の継続や町内の医療機関閉院等に伴う受け入れを行う。
 - イ 高齢者が増加する地域であることを踏まえ、複数の疾患をもつ高齢者に対して、特定の疾患・臓器に限定せず、幅広い診療を行う「総合診療」体制を整備する。
 - ウ 山間地域、サテライトオフィスで行ってきた在宅医療について、町内で継続しつつ、在宅医療の拡大を図る。
 - エ 在宅医療のサポート事業として、みなし訪問看護、新規に訪問リハビリを行う。
 - オ 山間へき地の医療の維持、確保するための事業とし、久瀬、春日、谷汲、藤橋、坂内の各診療所における医療支援の拠点として人材確保、育成の役割を担い、行政と協力し山間へき地の住民の健康維持等に努めていく。
 - カ 地域住民とのサロン（交流会）への参加
 - キ フレイル外来を実施し、要介護となる危険性へのケア・予防に努める
 - ク 小児科外来を実施し、若年世帯の安心した生活を支える。
 - ケ 山間部診療所のオンライン診療のサポート、移動診療車の導入を推進する。
 - コ 町の特定健診結果を活用し、胃・大腸カメラ検査の推進や胃がん健診事業を受託し、住民の健康増進に努める。
 - サ 物理療法、疾患別リハビリテーションを開始し、要介護予防や機能回復に努める。
 - シ WISC検査、障害児保育、幼児教育を導入し、小児科分野での地域ニーズに応える。

8.3 西予市民病院（令和7年4月1日開設 西予市から指定管理）

(1) 診療業務

ア 入院	病床数	111床
	年間患者数	25,952人（一日平均 71.1人）
	病床稼働率	64.1%
イ 外来	年間患者数	35,355人（一日平均 146.7人）

ウ 保健予防活動

(ア) 人間ドック	年間利用者数	43人
(イ) 健康診断	年間利用者数	689人
(ウ) 予防接種	年間利用者数	582人

(2) へき地医療の支援に関すること

へき地医療拠点病院の役割として、近隣の診療所へ医師の派遣を行い地域医療の確保に努める。

ア へき地診療所へ医師の派遣を行う

松野町国民健康保険中央診療所、西予市国民健康保険土居診療所への医師派遣

(3) 救急医療に関すること

西予市内で唯一の二次救急病院として24時間365日、救急患者を受け入れする。

(4) 在宅医療に関すること

訪問診療を行い、在宅看取りにも対応する。

(5) 施設機器設備整備（行政対応）

ア 生化学分析装置 2台

イ 免疫分析装置

ウ 超音波診断装置 Vscan Air SL 2台 / Vscan Air CL 1台

エ 単票式薬袋プリンタ

オ 昇降式平行棒

(6) 研修に関すること

ア 愛媛大学医学部地域医療・総合診療学講座 野村サテライトセンターで医学部学生の地域医療実習を行う（病棟実習）

・愛媛大学医学部5年生の実習

イ 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医を受け入れる

ウ 臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士等の医療技術職を目指す学生の実習を受け入れる。

エ 中学生、高校生の職場体験の受け入れ

(7) 地域包括ケアの取り組み

ア 介護施設との連携を強化し、協力医療機関として介護施設からの患者の受け入れを行う。

イ 訪問看護ステーションとの連携し、在宅医療の支援を行う。

ウ 居宅介護支援事業所と連携し、在宅復帰の支援を行う。

(8) その他特記事項等

ア 電子カルテの更新に向けて検討を進める。

イ 救急の広域化について検討を進める。

8.4 野村地域医療センター（令和7年4月1日開設、西予市から指定管理）

（1）診療業務

ア 外来 年間外来患者数 31,571人（一日平均 131.0人）

イ 介護保険

（ア）訪問看護 年間利用者数 627人（一日平均 2.6人）

（イ）居宅療養管理指導 年間利用者数 193人（月平均 16人）

（ウ）訪問リハビリ 年間利用者数 1,832件（一日平均 7.6件）

ウ 保健予防活動

（ア）人間ドック 年間利用者数 66人

（イ）健康診断 年間利用者数 156人

（ウ）予防接種 年間利用者数 990人

（2）介護老人保健施設業務（短期入所含む）

ア 入所 定員100人（短期入所含む）

年間入所者数 32,339人（一日平均 88.6人）

ベッド利用率 88.6%

イ 通所リハビリ 定員35人

年間通所者数 5,469人（一日平均 21.1人）稼働率60.3%

祝日及び年末12月31日まで営業

（3）へき地医療の支援に関すること

ア 診療所の診療支援を行う。

週1回、西予市国民健康保険土居診療所へ医師を派遣し診療支援を行う。

イ 診療車による巡回診療を行う。

週1回、診療車で無医地区へ医師、看護師を派遣し診療を行う。

惣川地区 毎週月曜日 週1回 午後

遊子川地区 毎週木曜日 週1回 午後

（4）在宅診療に関すること

在宅診療の充実を図り、在宅での看取りにも対応する。

ア 訪問診療

イ 訪問看護 24時間オンコールで対応する。

ウ 訪問リハビリ

（5）研修に関すること

ア 愛媛大学医学部地域医療・総合診療学講座 野村サテライトセンターで医学部学生の地域医療実習を行う

・愛媛大学医学部5年生の実習

実習期間：1週間 年間約80名

- イ 協力型臨床研修病院（臨床研修協力施設）として研修医を受け入れる
 - ・自治医科大学附属病院 研修医
 - ・日本赤十字社 松山赤十字病院 研修医
- ウ 愛媛大学医学部看護科 看護学生の地域医療実習受入
- (6) 施設機器設備整備（行政対応）
 - ア 野村診療所
 - ・医療機器
 - 眼科 スリットランプ用小型フルハイビジョンカメラ一式
 - イ つくし苑
 - ・介護用機器
 - バリアフリー入浴用リフト
- (7) その他特記事項等
 - ア 在宅医療、介護との連携を強化し、地域でかかりつけ医としての機能を維持する。
 - イ 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う。
 - ウ 地域内の特別養護老人ホームの嘱託医として診療を行うとともに、連携して施設での看取りを行う。
 - エ 在宅支援機能を強化し、在宅介護の支援を行う。
 - オ 西予市民病院と連携して、治療から在宅まで一貫したケアを行う。

8.5 君津市国保松丘診療所（令和7年4月1日開設 君津市から指定管理）

- (1) 診療業務

外 来	年間患者数	3, 910人	（一日平均	17.0人）
	訪問診療	年間件数	180件	
- (2) その他特記事項
 - ア 保健予防事業として特定健診・高齢者健康診査・予防接種等を行う
 - イ 訪問診療を開始し、在宅医療の充実を図る

8.6 遠隔画像診断支援事業

- (1) 遠隔画像診断件数

年間計	年間計件数	64, 300件	（月平均5, 400件）
-----	-------	----------	--------------

30施設の遠隔画像診断管理加算算定支援
- (2) 施設機器設備整備

読影依頼・支援側	読影依頼・支援側	端末	（購入）
読影依頼・送信側	読影依頼・送信側	端末	（購入）

- (3) へき地医療の支援に関すること
遠隔画像診断に基づく遠隔医療

87 社宅等管理事業

- (1) 牛込ハウス
東京都新宿区原町2-23
職員住宅 単身者用4戸 家族用6戸 計10戸
- (2) 赤羽ハウス
東京都北区赤羽台3-17-3
職員住宅 単身者用14戸 家族用20戸 集会室2戸 計36戸
- (3) 岐阜マンション
岐阜県岐阜市橋本町2丁目52番地
職員住宅 家族用 2戸
- (4) 保育所（さくらんぼ保育園）
東京都北区赤羽台4丁目18-13
3階建て保育所（30名程度の受入）
- (5) 岐阜へき地医療支援センター及びシティ・タワー診療所
岐阜県岐阜市橋本町2丁目52番地
岐阜へき地医療支援センター
シティ・タワー診療所
- (6) 北赤羽ハウス
東京都北区赤羽北3丁目17-10
看護師寮 単身者用14戸 事務所1戸 計15戸
- (7) 北上野ハウス
東京都台東区北上野1丁目11-1
看護師寮 単身者用14戸 家族用5戸 事務所1戸 計20戸
- (8) 第1浦安ハウス
千葉県浦安市当代島2丁目12-37
職員住宅 単身者用21戸 家族用26戸、保育所 計47戸
- (9) 第2浦安ハウス
千葉県浦安市当代島1丁目28-19
職員住宅 単身者用72戸
- (10) 第2北赤羽ハウス
東京都北区赤羽北3丁目8-5
職員住宅 単身者用35戸 家族用5戸 計40戸

(1 1) 志摩マンション

三重県志摩市磯部町の矢939番地102及び168

職員住宅 単身者用3戸 家族用1戸 計4戸

(1 2) 蔵前ハウス

東京都台東区蔵前4丁目36番13号

職員住宅 単身者用10戸 家族用6戸 計16戸

(1 3) 浅草ハウス

東京都台東区浅草5丁目4-4

職員住宅 単身者用8戸 家族用1戸 計9戸

(1 4) 練馬ハウス

東京都練馬区豊玉北4丁目31番9号

職員住宅 単身者用14戸

10 へき地等の医療を支援する病院等に勤務する看護師等を養成するための学校の運営事業等の養成事業
(公1-9)

1 さいたま看護専門学校(平成24年4月1日 開校)の運営

(1) 看護学校業務

ア 3年制の看護専門学校とし、1学年40人で平成24年4月1日に開校(浦和)
令和7年4月1日に久喜市に移転し、1学年80人体制になる。

イ 募集枠

(ア) 総合型選抜試験 50名

(イ) 推薦入試 10名

(ウ) 一般入試 10名

(エ) 社会人入試 10名 計80名程度

(2) 学生寮(プリムラ)の運営

入寮定員 男子学生 19名

女子学生 58名

合計 77名 (現在42名)

2 奈良市立看護専門学校(平成25年4月1日 開校)の運営

ア 3年制の看護専門学校とし、1学年40人で平成25年4月1日に開校

イ 奈良市から委託を受けて教務部門等の運営を行う。

ウ 主たる実習施設として協力する。

エ 校舎は当協会で建設し奈良市に無償貸与している。

オ 備品、教材等については当協会が購入し、奈良市へ提供している。

第2 法人会計

- 1 総会・理事会の開催
- 2 常務理事会の開催
- 3 総務委員会等の開催
- 4 各都道府県支部会議等の開催
 - (1) 都道府県支部会議
 - (2) 地方支部会議
 - (3) 支部長会議
- 5 その他一般管理

各施設の年度別患者見込数一覧

施設名等	職員数 (人) R8.2.1現在 (注1)	稼働病床 数(床)	一日平均入院患者数(人)			一日平均外来患者数(人)(注2)			老健定員 (注3)	一日平均入所者数(人)(注4)			一日平均在宅サービス利用者数(人)				
			R8年度 (予算)	R7年度 (予算)	R6年度 (予算)	R8年度 (予算)	R7年度 (予算)	R6年度 (予算)		R8年度 (予算)	R7年度 (予算)	R6年度 (予算)	通所リハ 定員	R8年度 (予算)	R7年度 (予算)	R6年度 (予算)	
43 シティ・タワー診療所 診療所(介護保険)	18	無床				219.0	40.8	37.9							1.1	8.0	8.0
44 奈良市立月ヶ瀬診療所	4	無床				16.0	19.7	18.9									
45 奈良市立都祁診療所	11	無床				48.0	43.7	41.0									
46 明日香村国民健康保険診療所	9	無床				31.5	35.0	32.0									
47 伊豆今井浜病院 訪問看護	139	100	70.5	65.7	73.0	201.4	203.1	207.8							13.8	8	7.5
48 関市国民健康保険津保川診療所 診療所(介護保険)	8	無床				27.0	28.0	34.0							0.4	0.6	0.8
49 十勝いけだ地域医療センター 訪問(看護・リハ) ケアプラン作成	102	60	40.0	38.0	37.0	120.0	120.0	120.0	29	28.0	28	27.7	15	8.0	8.0	8.0	
													(月平均)	31.8	31.5	28.5	
													(月平均)	50.0	50.0	50.0	
50 女川町地域医療センター 訪問(看護・リハ) ケアプラン作成	109	15	12.0	11.0	11.0	92.1	94.9	94.0	80	77.0	77.0	77.0	40	26.5	25.0	23.0	
													(月平均)	14.5	13.0	13.0	
													(月平均)	75.0	65.0	65.0	
51 三重県立志摩病院	285	276	170.0	179.9	180.4	240.0	238.5	261.5									
52 与那国町診療所	7	無床					19.5	23.0									
53 練馬光が丘病院	923	457	410.4	405.2	395.0	808.0	795.0	760.0									
54 越前町国民健康保険織田病院 病院(介護保険) ケアプラン作成	132	55	48.8	48.5	48.5	177.4	180.0	175.0							29.1	106.0	50.8
													(月平均)	85.0	85.0	85.0	
55 公立久米島病院 訪問(看護・リハ)	62	40	26.1	27.5	27.0	174.0	183.9	188.6							5.5	5.9	8.4
56 婦恋村国民健康保険診療所	7	無床				35.5	36.0	37.6									
57 伊豆下田診療所	8	無床				24.0	25.7	27.9									
58 真鶴町国民健康保険診療所 診療所(介護保険)	24	無床				41.0	45.0	45.0							32.9	25.8	23.2
59 今泉記念館ゆきあかり診療所	6	無床				36.5	35.0	36.5									
60 六ヶ所村医療センター 歯科診療 訪問看護	78	19	12.5	12.8	12.5	116.0	117.0	115.0	29	28.0	28.0	28.0	25	18.6	18.3	17.3	
							12.5	12.5							90.0	100.0	100.0
61 戸田診療所	7	無床				58.4	54.5	54.4									
62 西浅井地区診療所 診療所(介護保険)	13	無床				53.0	49.0	61.0							8.5	7.7	7.7
63 揖斐川町谷汲中央診療所 診療所(介護保険)	5	無床				23.3	22.0	25.2							4.2	3.3	3.3
64 米原市地域包括医療福祉センター 診療所(介護保険)	55	無床				98.0	86.0	85.0					9	13.0	11.1	11.1	
															24.5	25.5	25.0
65 介護老人保健施設市川ゆうゆう	64								150	130.0	137.0	135.0	20	20.0	18.0	15.0	
66 鳥羽市立長岡診療所 診療所(介護保険)	3	無床				14.8	14.9	15.5							3.1	2.0	2.9
67 竹富町立黒島診療所	2	無床				6.1	6.8	6.6									
68 奈良市立興東診療所	2	無床				4.8	4.8	5.8									
69 日光市立小来川診療所		無床				7.8	6.5	6.2									
70 恵那市国民健康保険山岡診療所	4	無床				26.5	28.0	26.5									
71 千早赤阪村国民健康保険診療所(R6年度で閉鎖)		無床						11.6									
72 国頭村立東部へき地診療所(R6年度で閉鎖)		無床						5.2									
73 恵那市介護老人保健施設ひまわり	40								95	85.0	85.0	85.0	15	13.2	13.2	13.2	
74 介護老人保健施設富谷の郷	48								100	94.0	95.0	98.0	25	13.0	13.0	20.0	
75 あま市民病院 歯科診療 病院(介護保険)	245	180	152.0	157	151.5	230.0	243.1	220.0							2.4	3.5	3.0
			3.0	3	3.0	20.0	20.0	30.0									
76 古里診療所	4	無床				20.0	27.0	31.0									
77 君津市小櫃診療所	5	無床				19.9	17.0	18.0									
78 おきたまフワークリニック	5	無床				29.5	29.5	28.5									
79 竹富町立竹富診療所	2	無床				7.0	9.2	9.0									
80 とくち地域医療センター 訪問(看護・リハ)	6	無床				46.8	41.7	45.0							2.7	0.6	0.4
81 豊頃町立豊頃医院	4	無床				24.5	24.5	23.0									
82 介護老人保健施設あやがわ	41								60	56.4	56	55.2	25	18.0	17	16.8	
83 志摩市立浜島診療所 訪問(看護・リハ)	7	無床				27.0	34.3	32.1							3.7	2	2.9
84 有田市立病院 訪問看護	170	141	76.1	92.6	110.0	220.0	260.0	260.0							50.0	47	42.2
85 いびがわ診療所 診療所(介護保険)	28					70.0	48.0	34.7							10.7	6	2.2
86 西予市民病院	226	111	71.1	96		146.7	159.0										
87 野村地域医療センター 診療所(介護保険)						131.0	111.0		100	88.6	93		35	21.1	22		
															10.2	11	
88 君津市国保松丘診療所	4					17.0	16.3										
合計	10,228	5,040	3,968	4,069	3,949	10,847	10,709	10,512	1,580	1,439	1,442	1,362	740	2,350	2,485	2,470	

(注1)「職員数(人)R8.2.1現在」は、正職員、臨時職員(非常勤職員を含まない)

(注2)「一日平均外来患者数」には往診・訪問診療を含む。

(注3)入所と短期の定員の合計を老健定員として示した。

(注4)「一日平均入所者数」には、入所者数の他に短期入所者数を含む。